

文学部

語学科目 履修案内

Language Courses Guide
2020

Faculty of Letters

外国語の履修にあたって

英語

外国語の学習においては、言うまでもなく「読む・書く・聞く・話す」という4つの能力の向上が求められます。これらの能力が均等に向上して、初めて真の意味での外国語の習得が可能になるのです。しかし教室における授業では、週2回（合計180分）という時間の制約があり、4つの能力をまんべんなく伸ばすことは困難です。

そこで文学部の英語必修科目では、2年次以降に多くの専攻できわめて重要になる「読解力」が十分であるか否かを基準として、レベル別のクラスによる授業を展開します。またそのため英語履修者全員を対象として、「読解力」によりレベル分けをするためのプレースメントテストを実施します。入学直後には1年次のレベル分けのため、1年次学年末には2年次におけるレベル分けのためのテストを行います。

プレースメントテストの結果、専門課程において「原典講読」などの授業に必要とされる読解力をすでに持つと判定された場合は、読解以外の授業内容が多く用意されている「上級」あるいは「中級発展」を履修します。一方、読解力のさらなる強化が必要であると判定された場合は、読解に特化した授業が行われる「中級」あるいは「基礎」を履修します。

プレースメントテストで自分がどのレベルに振り分けられたかを確認し、各レベル別に用意されたクラスから2コマを履修して下さい。（ただし、「最上級（帰国生対象）」、「基礎」は例外なので注意。）

また、帰国生および海外滞在歴がある者、英語以外の外国語による受験生は、履修にあたっての特別な指示があるので、「英語履修者ガイダンス」に続いて行われる「英語特別クラスガイダンス」に必ず出席してください。

プレースメントテストで判定されたレベル別の履修上の注意

最上級（帰国生およびそれに準ずる者）

文学部設置の帰国生対象である「英語Ⅰ最上級／英語Ⅱ最上級」の201、および外国語教育研究センター設置の「英語最上級 アドバンスト英語」6コマの中から1コマの、合計2コマを履修。「英語特別クラスガイダンス」に出席し、面接を受け承認を得ることが必要です。英語の運用能力が実用上すでに十分に備わっている学生が、英語を使つての様々なコミュニケーション能力をさらに高めることを目的にしています。

上級（帰国生以外）

文学部が設置する「英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級」の6コマ（191～196）の中から、2コマを履修。読解力はすでに十分である学生が、読解以外の発信型の英語能力を養成することを目的にしています。

中級発展

「中級発展」のクラスから2コマを履修。

「中級発展」には、主にネイティブスピーカーによる発信型のクラスと、主に日本人教員によるリーディング中心のクラスが用意されています。バランスのとれた英語力を養成することを目標にしています。

中級

「中級」のクラスから2コマを履修。

「中級」に設置されているクラスはいずれも、2年次以降の専門課程において必要とされる英語読解力を養成することに主眼を置いています。

基礎

「基礎」と「中級」のクラスを、それぞれ1コマずつ履修。

対象者は、「基礎」のクラスを1コマ「指定」されます。もう1コマは、本冊子3ページの担当者名に“*”のついている「中級」のクラスから各自1コマを選択し履修してください。

この冊子は、4月2日の英語履修者ガイダンスに持参してください。

各レベルのWebエントリー上の注意

最上級 (帰国生およびそれに準ずる者)

プレイスメントテストで「上級」判定を受け、さらに「英語特別クラスガイダンス」にて面接の上、許可を得た者のみが対象。下記のいずれかの方法で履修の手続きをすること。

- ・文学部設置の1コマ(帰国生を対象とする「英語Ⅰ最上級/英語Ⅱ最上級(201)」)が履修可能な場合: 文学部でのWebエントリーは不要。もう1コマは外国語教育研究センター設置の「英語最上級 アドバンスト英語」6コマの中から1コマを履修する。これは同センターにて別途手続きすること。
- ・文学部設置の「英語Ⅰ最上級/英語Ⅱ最上級(201)」が履修できない場合: 文学部でのWebエントリーは不要。外国語教育研究センター設置の「英語最上級 アドバンス英語」6コマの中から2コマを履修。同センターにて別途手続きすること。

上級 (帰国生以外)

文学部設置の「英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級」の6コマ(191~196)の中から、履修したいクラスを第6希望まで選び、Webエントリーを行う。

中級発展

「中級発展」のカテゴリーのクラス(161~183)から、第8希望までを選び、Webエントリーを行う。

中級

「中級」のカテゴリーのクラス(114~160)から、第8希望までを選び、Webエントリーを行う。

基礎

「基礎」のクラスは「指定」されているのでWebエントリーは不要。もう1コマは、本冊子3ページの「中級」のカテゴリーのクラス(114~160)のうちで担当者名に“*”のついているクラスから、履修したいクラスを第8希望までを選び、Webエントリーを行う。中級と基礎のクラスの教員が重複しないように選択してください。

全レベル共通: 履修までの手続き

- 1) 4月1日(水)の、英語プレイスメントテストを受けてください。読解力のテストです。当日、必ず筆記用具を持参してください。
3月30日(月)15:00までにkeio.jpの登録(入学手続き完了者への配布物同封の「クラス・学籍番号・履修語学等の発表について」を参照)をし、3月30日(月)に下記の「新入生お知らせシステム」で自分の学籍番号(8桁)と組を必ず確認してください。
クラス発表:「新入生お知らせシステム」 <https://fresh.keio.jp/>
- 2) 4月2日(木)の「レベル分け」発表で各自のレベルを確認し、「英語履修者ガイダンス」に出席の上、語学科目履修案内の「英語Ⅰ/英語Ⅱ」の中から、上記の注意に従い履修したいクラスを選択する。
レベル発表: <http://keio.jp> (keio.jpポータル「News」欄) 4月2日(木) 9:00以降準備でき次第公開
- 3) keio.jp内「Webエントリーシステム」より、希望する講座のエントリー登録を行う(4月3日(金)14:00締切)。
※詳細は、4月2日の英語履修者ガイダンスで配布する「必修語学科目履修要領(英語)」で確認して下さい。
- 4) コンピュータ処理による抽選により希望クラスの調整が行われ、その結果は、4月6日(月)14:00(予定)に発表される。
「最上級」以外の者は、発表されたクラスの履修申告は不要。
クラス発表: <http://keio.jp/> keio.jpポータル「News」欄 4月6日(月) 14:00以降準備でき次第公開

5) 「英語Ⅰ／英語Ⅱ」講座番号表

『各レベルのWebエントリー上の注意』の指示に従い、下記の表を参考に講座番号を選んでください。

【英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
114	木 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	赤江 雄一*
115	水 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	今井 純子
116	水 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	今井 純子
117	月 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	宇沢 美子*
118	木 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	宇沢 美子*
119	火 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	江崎 麻里
120	火 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	大島 範子
121	火 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	大島 範子
122	火 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	小川 真理
123	火 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	小川 真理
124	水 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	加藤 彩雪
125	月 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	熊代 文子
126	月 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	熊代 文子
127	火 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	倉科 真季
128	月 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	小泉 有加
129	月 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	小泉 有加
130	水 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	小泉 由美子
131	水 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	小竹 直
132	火 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	近藤 真彫
133	火 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	近藤 真彫
134	木 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	坂本 光*
135	木 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	佐藤 健
136	金 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	沢村 静
137	金 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	沢村 静
138	水 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	志賀 俊介
139	月 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	高橋 宣也*
140	木 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	高橋 宣也*
141	月 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	高橋 三和子
142	月 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	高橋 三和子
143	火 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	田辺 寛
144	火 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	田辺 寛
145	水 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	辻 秀雄
146	月 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	津田 敦子
147	火 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	徳永 聡子*
148	木 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	徳永 聡子*
149	金 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	中村 哲子
150	火 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	新名 ますみ
151	火 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	沼田 香穂里
152	火 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	沼田 香穂里
153	月 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	辺見 葉子*
154	水 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	堀 美里
155	水 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	堀 美里
156	金 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	溝部 敦子
157	金 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	溝部 敦子
158	金 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	若澤 佑典
159	木 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	和氣 直子
160	木 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	和氣 直子

【英語Ⅰ基礎/英語Ⅱ基礎】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
111	月 5	英語Ⅰ基礎/英語Ⅱ基礎	赤江 雄一
112	月 1	英語Ⅰ基礎/英語Ⅱ基礎	加藤 有佳織
113	木 1	英語Ⅰ基礎/英語Ⅱ基礎	徳永 聡子

【英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
161	月 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	赤江 雄一
162	金 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	ウェブスター, ダニエル J.
163	土 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	ウェブスター, ダニエル J.
164	木 5	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	宇沢 美子
165	火 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	江崎 麻里
166	水 1	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	加藤 彩雪
167	火 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	倉科 真季
168	水 5	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	小竹 直
169	木 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	坂本 光
170	木 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	佐藤 健
171	金 3	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	高橋 勇
172	木 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	高橋 宣也
173	火 1	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	チータム, ドミニク
174	火 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	チータム, ドミニク
175	月 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	津田 敦子
176	火 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	徳永 聡子
177	火 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	新名 ますみ
178	月 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	ピアソン・ウメツ, ナンシー E.
179	火 3	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	ピアソン・ウメツ, ナンシー E.
180	月 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	辺見 葉子
181	木 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	辺見 葉子
182	金 1	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	ボーク, ギャリー
183	月 3	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	ヤング, ジェローム

【英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
191	木 2	英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級	コミサロフ, アダム
192	木 4	英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級	コミサロフ, アダム
193	月 3	英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級	タイ, ワンチェン
194	火 1	英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級	バナード, ピーター
195	月 1	英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級	ピアソン・ウメツ, ナンシー E.
196	金 2	英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級	ボーク, ギャリー

【英語Ⅰ最上級/英語Ⅱ最上級】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
201	月 2	英語Ⅰ最上級/英語Ⅱ最上級	タイ, ワンチェン

英語 I / 英語 II 講義要綱

【基礎】

英語 I 基礎 1 単位(春学期)

英語 II 基礎 1 単位(秋学期)

英語文法・構文の復習

講座番号: 111

セット履修

赤江 雄一

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

単語レベルの意味は分かるのに、文の内容がなんとなくしか捉えられない。あるいは、いくら辞書を引いても少し複雑な文になるとお手上げになってしまう。これらは文を構成する固まりを理解するための基本事項の学習不足の典型的な症状です。この授業では、短めの文章を構造的に読み解くなかで、英文解釈の要となる構文と文法の復習と語彙や成句の強化を行います。一年を通じて、各専攻で必要となる英文読解に対応できるよう、徹底的に英語読解の基礎を補い応用力を養うことを目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

テスト (60%)、平常点 (授業態度・予習・復習・出席、40%) を総合して評価します。

テキスト(教科書):

初回の授業で、文法に関する教科書を指定しますので生協で購入してください。また必要に応じて、教科書を追加することもあります。補足用のプリントを keio.jp 授業支援システムあるいは教室で配布します。

参考書:

必要な段階で必要なものを教示します。

担当教員から履修者へのコメント:

必ず予習・復習にとりこんでください。

質問・相談:

授業の前後やメール、事前の予約による面接で受け付けます。

英語 I 基礎 1 単位(春学期)

英語 II 基礎 1 単位(秋学期)

英語文法・構文の復習

講座番号: 112

セット履修

加藤 有佳織

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

単語レベルの意味は分かるのに、文の内容がなんとなくしか捉えられない。あるいは、いくら辞書を引いても少し複雑な文になるとお手上げになってしまう。これらは文を構成する固まりを理解するための基本事項の学習不足の典型的な症状です。この授業では、短めの文章を構造的に読み解くなかで、英文解釈の要となる構文と文法の復習と語彙や成句の強化を行います。一年を通じて、各専攻で必要となる英文読解に対応できるよう、徹底的に英語読解の基礎を補い応用力を養うことを目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

テスト (60%)、平常点 (授業態度・予習・復習・出席、40%) を総合して評価します。

テキスト(教科書):

初回の授業で、文法に関する教科書を指定しますので生協で購入してください。また必要に応じて、教科書を追加することもあります。

担当教員から履修者へのコメント:

必ず予習・復習にとりこんでください。

質問・相談:

授業の前後やメール、事前の予約による面接で受け付けます。

英語 I 基礎 1 単位(春学期)

英語 II 基礎 1 単位(秋学期)

英語文法・構文の復習

講座番号: 113

セット履修

徳永 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

単語レベルの意味は分かるのに、文の内容がなんとなくしか捉えられない。あるいは、いくら辞書を引いても少し複雑な文になるとお手上げになってしまう。これらは文を構成する固まりを理解するための基本事項の学習不足の典型的な症状です。この授業では、短めの文章を構造的に読み解くなかで、英文解釈の要となる構文と文法の復習と語彙や成句の強化を行います。一年を通じて、各専攻で必要となる英文読解に対応できるよう、徹底的に英語読解の基礎を補い応用力を養うことを目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

テスト (60%)、平常点 (授業態度・予習・復習・出席、40%) を総合して評価します。

テキスト(教科書):

・初回の授業で、文法にかんする教科書を指定しますので生協で購入してください。また必要に応じて、教科書を追加することもあります。

・読解用プリント (keio.jp 上や教室で配布します)

参考書:

必要な段階で必要なものを教示します。

担当教員から履修者へのコメント:

必ず予習・復習にとりこんでください。

質問・相談:

授業の前後やメール、事前の予約による面接で受け付けます。

【中級】

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

Reading and Writing Strategies 中級 + Women & Power

講座番号: 114

セット履修

赤江 雄一

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、よくデザインされた教科書を用いて、読解スキルとストラテジーを段階的に身につけることで、批判的読解力の向上を促します。その過程で得た語彙や文章構造についての知識を、初歩的なアカデミックな英語の文章に適用する訓練も行います。

秋学期は、春学期で学んだスキルを活かしながら短い英書を通読します。取り上げるのは、イギリスでは一般にも名を知られた古典古代史研究者のメアリー・ピアードが、権力と女性の関係について行った講演を書籍化した *Women & Power: A Manifesto* です。女性が公の場で話すことについて、そして女性が権力ある立場につくことについて、西洋社会は古代ギリシャ時代から現代にいたるまである種の嫌悪を示してきた、その歴史と現代をたどります。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

テスト50%、提出課題20%、平常点30%

テキスト(教科書):

Kenneth J. Pakenham, Jo McEntire, and Jessica Williams, *Making Connections: Skills and Strategies for Academic Reading, Level 3 Student's Book*, 3rd Edition (New York: Cambridge University Press, 2013) ISBN: 9781107673014

Mary Beard, *Women and Power: A Manifesto* (London: Profile Books, 2017)

参考書:

教科書の目次: http://www.cambridge.org/download_file/832263/0/

サンプル: http://www.cambridge.org/download_file/832256/0/

担当教員から履修者へのコメント:

必ず予習をしてください。授業への積極的な参加を歓迎する。良い教科書なのできちんと取り組みれば力になると思います。

Mary Beard, *Women and Power: A Manifesto* (London: Profile Books, 2017) については春学期に入手する必要はありません。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

言語はどのように学ばれるか

講座番号: 115

セット履修

今井 純子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

大学での学びに必要な英文読解能力を養います。「母語や英語を始めとする外国語はどのように学ばれるか」を主なテーマとし、各自のこれまでの言語体験・学習についての振り返りを第二言語習得理論へと結びつけていきます。また、国内外のグローバリズムを題材とした英字新聞や国際語としての英語についての読解・ディスカッションを通じて、思考力やコミュニケーション能力を高めます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業内で行う内容確認・単語テスト等 30%

平常点 (出席・参加度・宿題への取り組み等) 30%

課題 (Issue Logs, Academic Reading Circle, Article Report等) 40%

テキスト(教科書):

必要なPDFやプリント、リンク先はkeio.jpや授業内で配布する予定です。

参考書:

Lightbown, P. M. & Spada, N. (2014). *How Languages are Learned*.

Fourth Edition. Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-454126-8

英英辞典を使いましょう。その他適宜ご紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

出席を重視します。予習、宿題、課題にまじめに取り組むこと。

テキスト以外の英語で書かれた本・雑誌・新聞などを積極的に読むこと。

質問・相談:

質問・相談がある場合は、授業前後に受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

国際語としての英語

講座番号: 116

セット履修

今井 純子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

大学での学びに必要な英文読解能力を養います。「国際語としての英語」を主なテーマとし、各自のこれまでの言語体験・学習についての振り返りと結びつけていきます。また、国内外のグローバリズムを題材とした英字新聞や言語の学ばれ方についての読解・ディスカッションを通じて、思考力やコミュニケーション能力を高めます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業内で行う内容確認・単語テスト等 30%

平常点 (出席・参加度・宿題への取り組み等) 30%

課題 (Issue Logs, Academic Reading Circle, Article Report等) 40%

テキスト(教科書):

必要なPDFやプリント、リンク先はkeio.jpや授業内で配布する予定です。

参考書:

McKay, S. L. (2002). *Teaching English as an International Language*.

Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-437463-7

英英辞典を使いましょう。その他適宜ご紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

出席を重視します。予習、宿題、課題にまじめに取り組むこと。

テキスト以外の英語で書かれた本・雑誌・新聞などを積極的に読むこと。

質問・相談:

質問・相談がある場合は、授業前後に受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

ジェイムズ・サーバーのユーモア短編小説を読む

講座番号: 117

セット履修

宇沢 美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中級レベルの読解クラスです。アメリカのユーモア作家として名高いジェイムズ・サーバーの短編集を読みます。作品の精読を通じて基礎的な読解力を養成しながら、このユーモア作家の重層的文章スタイル、ヘタウマなイラストなどを解釈し、その笑の世界を探っていきます。出席ならびに予習は必須です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

試験の結果による評価 (50%)

レポート等による評価 (20%)

平常点: 出席状況および授業態度による評価 (30%)

により総合的に評価します。

テキスト(教科書):

James Thurber, *The Thurber Carnival* (Penguin Classics, 2014).

ISBN-10: 0141395974 ISBN-13: 978-0141395975

質問・相談:

uzawa@flet.keio.ac.jpで随時受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

ジョージ・オーウェルの名随筆文を読む

講座番号: 118

セット履修

宇沢 美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中級レベルの読解力養成のコースです。ディストピア小説の古典『動物農場』や『1984年』で知られる、英国人作家ジョージ・オーウェルの名随筆文を読みます。春学期は比較的短い、物語性のある文章を、後期は長めの文学論、政治論を中心に読み進みます。予習と出席は必須です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

・試験の結果による評価 (50%)

・レポート等による評価 (20%)

・平常点: 出席状況および授業態度による評価 (30%)

により総合的に評価します。

テキスト(教科書):

Orwell, George. *Essays*. Penguin Modern Classics. Penguin. 2000.

ISBN-10: 0141183063

質問・相談:

uzawa@flet.keio.ac.jpで随時受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

名画を彩る食文化

講座番号: 119

セット履修

江崎 麻里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は英語史を概観したのち、秋学期は、食べ物や食事の情景を描いた14の名画を通し、画家の人生や食文化を探ります。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

日常点 (出席点・課題・発言) 60%

春学期・秋学期試験 40%

テキスト(教科書):

1. 『BBC: 英語ものがたり』 朝日出版社 2014年 ISBN: 978-4-255-15296-7

2. 『絵画を彩る食文化』 朝日出版社 2020年 ISBN: 978-4-255-15644-6

参考書:

授業中に随時、紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

遅刻厳禁。辞書必携。

地道に積み重ねていくことが好きな人に適した授業です。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

英語で医学誌を学ぶ

講座番号: 120

セット履修

大島 範子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、Roy Porterの、医学史についての概説書*Blood and Guts: A Short History of Medicine* (2002)を精読します。西洋医学の(必ずしも単純な技術的進歩の歴史とは言えない)歴史を英語で学ぶことで、英語をより速く正確に読む訓練をしながら、同時に、身体や病気、あるいは病院という概念の、歴史における文化的・社会的側面について考えることを目的とします。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業態度50%、学期末の課題50%で評価します。

テキスト(教科書):

Porter, Roy. (2003). *Blood and Guts: A Short History of Medicine*.

Penguin. ISBN: 978-0141010649

参考書:

必要な場合は適宜配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

履修者の皆さんには、毎回、順番に本文の和訳をしていただきますので、予習をしっかりとすることが前提の授業になります。また、内容についてのディスカッションでは皆さんに発言を求めます。最初は緩やかなペースで初めて、慣れてきたら少しずつ一回に読むペースを増やしていきましょう。

質問・相談:

授業時に受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

Anna Kavan の *Asylum Piece* を精読する

講座番号: 121

セット履修

大島 範子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、イギリスの小説家Anna Kavanの、精神疾患やサナトリウムでの生活を患者の視点から描くことをテーマとした短編集*Asylum Piece* (1940) (邦題:『アサイラム・ピース』)から、いくつかの短編を取り上げて精読します。文法的な正確さを保ちながら同時に、小説を、情景を想像し、楽しみ、さらに内容について考察しつつ読めるようになることを目的とします。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業態度50%、学期末の試験50%で評価します。

テキスト(教科書):

Kavan, Anna. (2001). *Asylum Piece*. Peter Owen. ISBN: 978-0720611236

参考書:

必要な場合は適宜配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

履修者の皆さんには、毎回、順番に本文の和訳をしていただきますので、しっかりと予習をしていただくことが前提の授業になります。また、内容についてのディスカッションでは皆さんに発言を求めます。最初は緩やかなペースで初めて、慣れてきたら少しずつ一回に読むペースを増やしていきましょう。

質問・相談:

授業時に受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

Fluent Reading

講座番号: 122

セット履修

小川 真理

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

多様な主題を扱ったTOEIC 600~800点レベルのリーディング教材を読みます。自然な英文のリーディングに慣れると同時に、多彩なトピックに関する知識と理解を深めます。また、語彙を増強し、接頭辞や接尾辞に関する知識なども併せて学習します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(授業準備を済ませて授業に出席、参加すること) 45%

各学期末試験 55%

やむを得ない事情を除き、各学期5回以上の欠席は単位取得が認められません。遅刻は3回で欠席1回に相当します。

テキスト(教科書):

Anderson, Neil J. (2014). *ACTIVE Skills for Reading 4*. Third Edition.

Cengage. ISBN: 978-1-133-30809-6

担当教員から履修者へのコメント:

大学の学びでは、英語あるいはその他の外国語を使って調査研究ができることが期待されます。苦勞なく英語力を向上させるためには、英語を趣味の延長線上で日常的に見聞きすることを習慣化しましょう。本、雑誌、英字新聞からソーシャルメディアまで、材料は至る所にあります。英語でも情報収集ができれば、世界が広がります。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

Close Reading

講座番号: 123

セット履修

小川 真理

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

TOEIC 750点~レベルの教材を使い、様々なトピックを扱った本格的な文章を読み込みながら、テーマに関する知識と理解を深めます。リーディングや語彙などの学習に加えて、スーパープレゼンテーションとTEDカンファレンスの映像を使った学習も行います。

通常の洋書レベルの英文読解に慣れること、様々な問題に対する考えを深めること、リスニングのインプットも増やすことを目標とします。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(授業準備を済ませて授業に出席すること) 45%

各学期末試験 55%

やむを得ない事由を除き、各学期5回以上の欠席は不合格となります。遅刻は3回で欠席1回にカウントします。

テキスト(教科書):

Laurie Blass and Jessica Williams, *21st Century Reading 4* (Cengage,

2016) ISBN: 978-1-305-26572-1

教科書の音声とTEDカンファレンスの動画は以下からアクセス可能です。

<https://eltnl.com/sites/21st-century-reading/student/book-4/audio>

参考書:

下記のような大辞典が必要になるでしょう。

高橋作太郎編『リーダーズ英和辞典 第3版』ISBN: 9784767414225

小西友七・南出康世編『ジーニアス英和大辞典』ISBN:

9784469041316

電子辞書であれば英語専門モデルをお薦めします。

『英語構文全解説』山口俊治著 研究社 2013年 ISBN:

978-4327452551

担当教員から履修者へのコメント:

英語は読めば読むほど、読解力だけではなく会話力まで向上します。自分の中にインプットされていないものはアウトプットすることもできません。とにかくリーディングとリスニングの量を増やすことが英語力向上につながります。

英語を使ってより多くの、また様々な視点からの情報を得られるように、専門課程で英語で文献調査ができるように、日々英語のインプットを積み重ねましょう。ぜひ洋書読みに挑戦して自分を高めましょう。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

イギリス短編小説で学ぶ英語

講座番号: 124

セット履修

加藤 彩雪

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は、「奇妙な味」と評されるロアルド・ダールの短編小説を取り上げます。日常会話の中に隠された人間の狂気や幻想、そして複雑な心の機微を感じ取りながら、ミステリーやサスペンスの奥深さを味わいます。

秋学期は、20世紀にイギリスで書かれた短編作品を取り上げます。具体的には、D.H. ロレンスの短編を扱います。個人と社会、自然と近代化、階級と労働といった問題を考えることで「西洋モダニズム」への理解を深めます。

授業では、演習形式でゆっくりと丁寧にテキストを読みます。そして、基本的な文法事項、段落の構造、時代背景を確認していきます。また、読後感を語り合うことで、自分の意見を発信するだけでなく、クラスメイトの意見を聞く作法も身につけます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は、平常点(出席および授業参加度)と、定期試験を総合的に評価します。

テキスト(教科書):

プリント配布 (keio.jp にアップしますので、各自プリントアウトしたものを授業に持参してください)

参考書:

授業にて適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

該当箇所の予習をし、授業には辞書を持ってきてください

質問・相談:

質問・相談は授業終了後または、メールにて受けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

ニュースを見る、読む

講座番号: 125

セット履修

熊代 文子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英字新聞を編纂したテキストを読む、リーディングを核とする授業ですが、毎回、冒頭で短い英語ニュースの映像を見ます。

リーディングの教材として、春学期・秋学期を通じて1冊のテキスト (*Trends in Transition* ニューヨークタイムズで時代を読む) 及びプリント (適宜配布) を使用します。また、映像の教材として、春学期・秋学期各1冊ずつテキスト (*ABC World News 19* 及び *Broadcast: ABC World News Tonight*) を使用します。つまり、年間でテキスト3冊とプリント各種を使用することになります。

授業時間内に、辞書を使いながら、自分の力で題材を理解することが要求されます。ただ漫然と座っていて、授業に集中して取り組む姿勢が見られない場合、出席点が減点されます。

適宜小テストを行います。宿題は、春学期・秋学期各3回予定しています。また、発表を春学期・秋学期各1回してもらう予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席点30%、小テスト5%、宿題及び発表10%、学期末試験55%の配分で算出した総合点に基づいて決定します。ただし、授業態度に著しく問題があると認められる場合は、総合点の如何に関わらず単位は取得できません。

テキスト(教科書):

通年

・ Rume Kita & Keith Wesley Adams. (2011). *Trends in Transition* ニューヨークタイムズで時代を読む. 英宝社.

春学期

・ Shigeru Yamane & Kathleen Yamane. (2017). *ABC World News 19*. 金星堂.

秋学期

・ Shigeru Yamane & Kathleen Yamane. (2019). *Broadcast: ABC World News Tonight*. 金星堂.

担当教員から履修者へのコメント:

毎回、教科書と英和辞書を持参して下さい。第3回目の授業以降、教科書または英和辞書のいずれかを持参していない場合、その回の出席点は半分に減らされ、また、両方持参していない場合、その回は欠席扱いになることに合意してもらうことが、履修の条件となります。

授業時間を有効に活用する態度が明らかに欠如していると判断される場合、出席点が減点されます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

ニュースを見る、読む

講座番号: 126

セット履修

熊代 文子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英字新聞を編纂したテキストを読む、リーディングを核とする授業ですが、毎回、冒頭で短い英語ニュースの映像を見ます。

リーディングの教材として、春学期・秋学期を通じて1冊のテキスト (*Change and Conflict* ニューヨークタイムズの窓から) 及びプリント (適宜配布) を使用します。また、映像の教材として、春学期・秋学期各1冊ずつテキスト (*ABC World News 20* 及び *Broadcast: ABC World News Tonight 2*) を使用します。つまり、年間でテキスト3冊とプリント各種を使用することになります。

授業時間内に、辞書を使いながら、自分の力で題材を理解することが要求されます。ただ漫然と座っていて、授業に集中して取り組む姿勢が見られない場合、出席点が減点されます。

適宜小テストを行います。宿題は、春学期・秋学期各3回予定しています。また、発表を春学期・秋学期各1回してもらう予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席点30%、小テスト5%、宿題及び発表10%、学期末試験55%の配分で算出した総合点に基づいて決定します。ただし、授業態度に著しく問題があると認められる場合は、総合点の如何に関わらず単位は取得できません。

テキスト(教科書):

通年

・ Rume Kita & Keith Wesley Adams. (2014). *Change and Conflict* ニューヨークタイムズの窓から. 英宝社.

春学期

・ Shigeru Yamane & Kathleen Yamane. (2018). *ABC World News 20*. 金星堂.

秋学期

・ Shigeru Yamane & Kathleen Yamane. (2020). *Broadcast: ABC World News Tonight 2*. 金星堂.

担当教員から履修者へのコメント:

毎回、教科書と英和辞書を持参して下さい。第3回目の授業以降、教科書または英和辞書のいずれかを持参していない場合、その回の出席点は半分に減らされ、また、両方持参していない場合、その回は欠席扱いになることに合意してもらうことが、履修の条件となります。

授業時間を有効に活用する態度が明らかに欠如していると判断される場合、出席点が減点されます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

難解な文章の精読に挑戦する

講座番号: 127

セット履修

倉科 真季

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、主に教科書の文章の精読を通して英語のリーディング能力の向上を目指します。毎回の授業で扱う英文は、様々な小説・エッセイ・論文からの抜粋です。講読する一回あたりの文章はそれ

ほど長いものではありませんが、それぞれきちんと文法や個々の単語の意味を確認しなければ読み解けない内容となっているので、一文ずつ英語を分析するつもりでじっくりと精読を行います。また、教科書では基本的に各々の作品の一部分を読解することになるため、特に文学作品を扱う場合などは作品全体への理解も深めてもらえるよう、補足の資料や映画等をその都度用いていくつもりです。

加えて速読の訓練の目的で、授業の始めに短いエッセイをその場で読んで内容を理解するエクササイズ等を課す予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(授業参加の態度、課題、発表) 50%+期末試験50%で総合的に判断します。

テキスト(教科書):

葉袋善郎編著『名文で養う英語精読力』(研究社、2009年) ISBN: 978-4-327-42179-3

参考書:

授業内でその都度紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業では担当者に毎回発言を求めするので、きちんと精読をした上で授業に臨むことが基本となります。個々の文章の意味を理解するだけでなく、文章の前後関係を把握し行間を読むレベルにまで到達できるように心がけて授業を行うので、履修者の皆さんもそのつもりで学習を進めてください。

質問・相談:

授業内や授業後のほか、初回にお知らせするメールアドレスにて受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

Reading Fairy Tales

講座番号: 128

セット履修

小泉 有加

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this course, we will read different versions of well-known fairy tales, as well as criticisms of them. By comparing classic fairy tales with contemporary retellings, we will consider how each story has changed over time and what these changes reveal to us.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Evaluation will be based on attendance, preparation, class participation, submission of assignments (writing, presentations etc.) and examinations.

テキスト(教科書):

Handout materials will be provided.

参考書:

Oshima, Alice, and Ann Hogue. (2006). *Writing Academic English*. 4th edition. Pearson Longman. ISBN: 978-0-13-152359-3

担当教員から履修者へのコメント:

- Part of this course will be conducted in English.

- Although our focus is on developing reading skills, you are also given opportunities to write, discuss and make presentations in English.

- Regular attendance, preparation of weekly homework assignments and active participation are an absolute requirement.

- This course involves a lot of group work. Students who take this course are expected to work with other students and be responsible in every activity.

- Regular attendance is expected. Students who miss more than three classes per semester receive no credit.

質問・相談:

If you have questions, you can ask me before, during or after the class.

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

Building Academic Skills in English

講座番号: 129

セット履修

小泉 有加

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The goal of this course is to improve your reading skills as well as your academic skills in English. In addition to the class textbook, you will be

given different types of reading materials, through which we learn and apply some academic skills. In Spring Semester, we will learn basic academic skills for annotating, lecture listening and note-taking. In Fall Semester, we will learn academic skills for paragraph writing and apply those to various texts, such as literary criticisms and stories.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Evaluation will be based on attendance, class participation, review tests, submission of assignments (writing, presentations etc.) and a final examination.

テキスト(教科書):

Beglar, David. (2009). *Contemporary Topics 3*. Pearson Education. ISBN: 978-0-13-234523

担当教員から履修者へのコメント:

- Part of this course is conducted in English.

- Although our focus is on developing reading skills, you are also given opportunities to listen, write, discuss and make presentations in English.

- Regular attendance, preparation of weekly homework assignments and active participation are an absolute requirement.

- This course involves a lot of group work. Students who take this course are expected to work with other students and be responsible in every activity.

- Regular attendance is expected. Students who miss more than three classes per semester receive no credit.

質問・相談:

If you have questions, you can ask me before, during or after the class.

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

エッセイ集『ロブスターについて考える』を読む

講座番号: 130

セット履修

小泉 由美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、デヴィッド・フォスター・ウォレスのエッセイ集『ロブスターについて考える』(2005年)を読み進めます。本書は、その主題においては多岐に渡り(カフカ、ドストエフスキー、英語辞書、9.11、アップダイク、大統領選挙、そしてもちろんロブスター)、その文体は簡潔かつ時に詩的ですからある至極のエッセイ集。主題内容および英文構造への理解も深めながら、丁寧に読み進めることを通じて、「読むこと」「書くこと」「考えること」について考えます。毎授業における10ページ程度の予習、短めのエッセイ(一つの章を読み終える毎)および学期末レポートの提出がもとめられます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(予習・出席・授業参加)、課題(エッセイ・学期末レポート)の総合点で判断します。

テキスト(教科書):

David Foster Wallace, *Consider the Lobster and Other Essays* (Little, Brown, 2005)

質問・相談:

随時、受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

英語の過去・現在・未来について考える

講座番号: 131

セット履修

小竹 直

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

オクスフォード大学出版より刊行されている Very Short Introductions シリーズより、英語の成り立ちや世界中で話される英語の多様性、さらには英語の未来について検討した Simon Horobin, *The English Language: A Very Short Introduction* (2018) をテキストに、精読と速読のバランスをとりながら読み進めて行くことを目標とします。また、上記書籍の出版に合わせて行われた著者による講演が公開されているので、各授業の冒頭に少しずつ聞き進めることで、音声や映像による内容理解も深めていきます。

ひとつの言語の歴史は単純に言語学的な側面から分析できるものではなく、その言葉が話す人々の歴史と切り離すことはできません。またその言葉の変遷を検討するには、その言葉で書かれた書物や史的資料を綿密に検討する必要があります。さらに、ヨーロッパの片隅に浮かぶ島国の言語であった英語が、世界的に用いられるようになり、インターネットなどの新しいメディアを通じてさらにその役割を広げていく中で、その言葉はさらに変遷を遂げていきます。本講義では、言語だけでなく西洋史、書物史、文化史といった複合的な視野を持ちながら、教科書を深くじっくり読むことを目標とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

期末試験 (60%) , 平常点 [出席、予習・授業中の学習状況] (40%)

テキスト(教科書):

Simon Horobin, *The English Language: A Very Short Introduction* (Oxford, 2018) ISBN: 9780198709251

参考書:

授業内で適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業には辞書(電子辞書も歓迎)を持参してください。予習・復習は必須です。将来的に英語学・言語学を学ぼうとする学生のみならず、授業内容に挙げたような関連領域に興味を持つ学生の参加を期待しますが、予備知識は必要ありません。積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。またメールでの相談も受け付けます(アドレスは初回授業時に通知します)。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

英米のミュージアム

講座番号: 132

セット履修

近藤 真彫

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現在、内外の美術館や博物館のほとんどがウェブサイトを作成していて、所蔵品の豊富な画像と共に詳細な時代背景など専門性の高い情報を提供しています。本授業では、英米の美術館や博物館のウェブサイト上にある多彩な情報を取り上げつつ、英米におけるミュージアムの成り立ち、美術や歴史、博物館学などについて扱った英文を正確に訳す訓練を行います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

学期末試験の成績 (60%) と平常点 (予習、課題など40%) を総合して評価します。

テキスト(教科書):

授業でプリントを配布し、また、適宜参考にするウェブサイトを紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

インターネットを通じて海外の情報を手軽に入手できる時代だからこそ、正しい情報の取り扱いと英語読解力が大切です。授業では主にウェブサイト上のテキストの読解を行います。辞書にある意味をただ拾うだけではなく、言葉の背景にある文化や歴史に興味を持って積極的に参加してください。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

美術を読む

講座番号: 133

セット履修

近藤 真彫

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

事典の項目や新聞のレビュー記事、学術書や論文など、美術について書かれた様々なテキストを読んでいきます。内容は、主に欧米の美術作品(視覚的イメージ)や文化史に関わるもので、こうした分野の専門的な英文を正確に訳すことを中心に授業を進めます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

学期末試験の成績 (60%) と平常点 (予習、課題など40%) を総合して評価します。

テキスト(教科書):

授業でプリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

テキストの内容に関する英作文練習なども行いますが、基本的に英文和訳の授業です。専門性の高いものも取り上げるので、辞書で調べた訳語を並べただけでは理解しづらい場合もあるかもしれませんが、同じ分野のテキスト読解を続けることで確実に読み易くなってきます。美術や歴史に興味のある学生の積極的な参加を期待します。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

精読入門 - 論説文を読む

講座番号: 134

セット履修

坂本 光

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

主に論説文をテキストとし、効率よく正確に英文を理解するためのトレーニングを行います。

外国語であれ母語であれ、正確な読解には、十分な語彙と構文の認識、そしてコンテキストへの理解が重要です。この授業では、特に構文とコンテキストへの感覚を、バランスをとりながら磨いてゆくことを目標とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

▶ 成績評価は「春学期平常点」25%、「春学期中間・期末試験」25%、「秋学期平常点」25%、「秋学期中間・期末試験」25%の比重で算出します。

▶ 各学期「平常点」は、予習の成果、授業参加への積極性や小テスト等から算出します。

▶ 通年欠席6回で不合格、遅刻は欠席0.5回分として計算します。学則通り、サークル活動等による公欠は認めません

テキスト(教科書):

テキストは www.keio.jp 経由で配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

教室へは必ず英和か英英の学習辞典を持参すること。もちろん予習が必須であり、また授業を実力向上に結びつけるためには、復習も欠かせません。

質問・相談:

質問・相談を hikaru.sakamoto@keio.jp にて受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

Learning English for Academic Purposes with National Geographic

講座番号: 135

セット履修

佐藤 健

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、National Geographicに掲載された記事をベースにしたテキストを用いて、リーディングを主としつつも総合的な英語スキルを伸ばすことを通して、専門科目を学ぶ上での基礎となる英語能力を養うことを目的とする。加えて英文を受動的に理解するだけでなく、批判的な立場から解釈し、自身の意見を表明できる能力と態度を養成する。

授業は基本的に教科書に沿って行われるが、プリントを配布してテキストとは異なるタスクを実施する場合もある。更に自身で興味のある記事や教科書の任意のテキストを自ら選択し、その内容と自分の意見を他の学生に発表するタスクを各学期に実施する。

授業時にはペアやグループでの協働活動が多く実施されるため、能動的な態度での受講を希望する。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席・授業内活動(小テスト・レポート・発表)・期末テスト(語彙・リーディング・リスニング)のスコアを合計し、60点以上の者に単位を与える

出席・授業内活動(70%)・期末テスト(30%)

テキスト(教科書):

Douglas, N, et al. (2014). *Reading Explorer 4*, 2nd edition. CENGAGE Learning. ISBN : 9781305254497

参考書:

授業時に随時紹介する。

担当教員から履修者へのコメント:

授業内での能動的な態度を促すため、他の履修者との協働活動が必ず実施される。またグループやクラスに対してプレゼンテーションを行なう機会がある。授業はコンピュータ(CALL)教室で実施する予定のため、授業名でコンピュータを利用することが求められることを留意されたい(事前の知識は不要)

質問・相談:

授業時に直接質問するか、授業時に提示するメールアドレス宛に連絡すること。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

世界と日本のつながりを読み議論しよう

講座番号: 136

セット履修

沢村 静

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英文を読解できる喜びは、努力なしに味わえません。リーディング・ストラテジーを駆使し英語の語彙を増やしながら、日本に関わる様々なトピックを英語で読み込みましょう。日本国内や世界とその関わり、日本人がどのようにしたら世界の人々とわかり合えるようになるかを論じたエッセイを読み、日本人としての意識や考え方について再考しましょう。また世界で活躍できる国際人を目指し、英語圏で生活する際にも役立つような英語表現の習得を目指します。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は出席状況、小テスト、授業態度、また学期末試験で評価します。

テキスト(教科書):

春・秋学期

『知の想像』

World of wonders shaping tomorrow

Anthony Sellick・John Barton・小笠原 共著

成美堂 ISBN 978-4-7919-1294-0

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

世界と日本のつながりを読み議論しよう

講座番号: 137

セット履修

沢村 静

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英文を読解できる喜びは、努力なしに味わえません。リーディング・ストラテジーを駆使し英語の語彙を増やしながら、日本に関わる様々なトピックを英語で読み込みましょう。日本国内や世界とその関わり、日本人がどのようにしたら世界の人々とわかり合えるようになるかを論じたエッセイを読み、日本人としての意識や考え方について再考しましょう。また世界で活躍できる国際人を目指し、英語圏で生活する際にも役立つような英語表現の習得を目指します。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は出席状況、小テスト、授業態度、また学期末試験で評価します。

テキスト(教科書):

春・秋学期

『知の想像』

World of wonders shaping tomorrow

Anthony Sellick・John Barton・小笠原 共著

成美堂 ISBN 978-4-7919-1294-0

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

Learning English through Mass Media

講座番号: 138

セット履修

志賀 俊介

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英字新聞 (*The Japan Times*, *The New York Times* など) のニュース記事や社説の読解を行い、英語の活字メディアから情報を得るための基礎力の養成を目指します。また、読解にもとづいてグループでのディスカッションやプレゼンテーションを行い、英語での発信力を養います。毎回のタスクとして、授業の初めにTOEFLなどの問題などを用いてペアワークによるスピーキングの練習を行い、授業の終わりにはCNN 10 (毎日のニュースが10分にまとめられたもの) などでリスニング力の向上を目指します。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

以下を合算し、評価します。

1. 出席状況、授業参加度: 20%

2. 提出物: 10%

3. グループ・プレゼンテーション: 30%

4. 中間試験、期末試験: それぞれ20%

【注意】遅刻は3回で欠席1回とみなします。また、各学期の全授業回数のうち、3分の1を欠席した場合は評定外となります。

テキスト(教科書):

毎回、英文記事のコピーを配布します。その他、リスニングの練習などでプリントを配布するので、A4サイズのファイルを用意すると良いでしょう。

担当教員から履修者へのコメント:

ペアワークやグループワークが多いため、積極的な授業参加が求められます。また、どんな些細なことでも質問をし、クラスで共有しましょう。授業には辞書(紙辞書・電子辞書いずれも可)を持参してください。

質問・相談:

授業前後に受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

現代社会に関する記事とエッセイの読解

講座番号: 139

セット履修

高橋 宣也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現代の英語圏で起こっている様々な事象を伝える英語の記事、エッセイを知日派のイギリス人が編集したテキストを用います。懇切な説明を助けにしながら、内容を的確に読み取ることを目指します。概略をつかむだけでなく、細かいニュアンスも追っていきます。練習問題も扱います。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

・試験の結果による評価(年2回の学期末試験)

・平常点:出席状況および授業時の成果による評価

テキスト(教科書):

Roger Pulvers, *Setting the Stage: Articles and Essays about the State of Our World Today* (研究社)

担当教員から履修者へのコメント:

テキストは、エッセイ及び理解チェックの問題で構成されています。十分な予習が必須です。予習の段階から英語になじむ練習になるでしょう。綿密に読むことで、表面的な情報だけでなく、ユーモアや皮肉といったニュアンスまで汲み取ることを目指します。授業進行の計画は目安です。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

多様な英文の速読

講座番号: 140

セット履修

高橋 宣也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

テキストは、新聞のコラムやエッセイ、日記、短編小説など、様々なタイプの英語で書かれた文章です。授業時に配布されるテキストの速読を行い、内容が的確に把握されているかを確認します。また章ごとに適宜英語のレポートを提出し、英作文の練習も行います。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

- ・試験の結果による評価(年2回の学期末試験)
- ・レポート(章ごとに随時課する)
- ・平常点:出席状況及び授業時の成果による評価

テキスト(教科書):

Simon Greenall and Diana Pye, *Cambridge Skills for Fluency: Reading 3* (Cambridge University Press) [コピーを配布します]

担当教員から履修者へのコメント:

予習は必要としませんが、授業時の集中した取り組みが必須です。授業進行の計画は目安です。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

西洋美術における風景に関する論考を読解する

講座番号: 141

セット履修

高橋 三和子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、Malcolm Andrewsによる西洋美術における風景に関する著作*Landscape and Western Art*を読解します。風景の概念の考察に始まり、ルネサンス絵画における発展、トポグラフィとの関係などあらゆる角度から分析した論考を読み、英語読解力向上を目指します。トピックや論の展開の把握、注の読み方などを含む学術書読解の基礎的な技術を養いつつ西洋美術についての知識を深めます。授業ではペアワークやグループワークを取り入れます。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席、授業参加)及び学期末の試験から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

Malcolm Andrews, *Landscape and Western Art*, Oxford History of Art (Oxford: Oxford University Press, 1999) ISBN: 978-0-19-284233-6

担当教員から履修者へのコメント:

学術的な著作を読解するにあたり、入念な予習が必要となります。英語の語彙力の強化、文法・構成の理解を含む読解力向上に対する意欲に加え、扱うトピックの背景の知識を理解、吸収する姿勢を期待します。

質問・相談:

授業の前後に受けつけます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

イギリス人写真家による明治日本旅行記を読む

講座番号: 142

セット履修

高橋 三和子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

明治時代の日本を訪れたイギリス人写真家Herbert G. Pontingによる写真入り旅行記*In Lotus-land Japan*を読みます。旅行記ならではの空間描写を含む生き生きとした文体を堪能しつつ英語の読解力向上を目指します。長いセンテンスの英文訳出のスキルを高めることを目標とします。豊かな表現力によるエピソードや情景の記述を明治期の美しい写真とともに読み、英語による日本及び日本文化の描かれ方を学びます。授業ではグループワークを多く取り入れ、読解に取り組みます。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席、授業参加)及び学期末の試験から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

プリント教材

担当教員から履修者へのコメント:

写真家である筆者の文章は、写真あるいは絵画を思わせる詳細な風景描写を数多く含みます。このため、重文、複文を用いた難解な長文が度々現れます。毎回の入念な予習は欠かせません。意欲的に読解に取り組む学生を歓迎します。また、授業ではグループワークを多く取り入れるため、積極的に発言し、協力する姿勢を期待します。

質問・相談:

授業の前後に受けつけます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

第2言語習得理論を原書で読む

講座番号: 143

セット履修

田辺 寛

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

皆さんにとって外国語の習得は過去、現在そしてこれからの自己実現に深く関わっていると思います。第2言語習得というテーマで、著名な応用言語学者による外国語の習得のメカニズムについての様々な英語の文献を読みます。この授業はContent Based Approachという指導哲学に基づいて行います。授業で扱う題材に対する興味とそこから生まれる学習動機によって学習を継続し、精読、多読を併用しながら、読んだ内容について理解を深めるためのグループディスカッション、プレゼンテーションを通して自然に英語読解力を高めようとするものです。グループ発表形式をとりますので、事前に十分な予習が必要です。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

レポート、試験、授業への貢献度、出席をもとに成績が判定されます。

テキスト(教科書):

Oxford, Rebecca L. (1990). *The Language Learning Strategies: What Every Teacher Should Know*. Longman.

Ellis, R.. (1985). *Understanding Second Language Acquisition*. Oxford University Press.

Krashen, Stephen, and T. Terrell. (1983). *The Natural Approach*. Prentice Hall.

他、応用言語学、社会言語学、心理学、行動学等の文献。授業で示します。テキストの変更があり得るので事前に準備する必要はありません。

参考書:

Wallace, J.M..(1980). *Study Skills in English*. Cambridge University Press.

担当教員から履修者へのコメント:

英語の学び方、教え方についてのテーマを扱い、学んだことを実践的に活用します。専門分野に直結する文献をしっかり読んで、議論することを期待する人に向けたクラスです。将来外国語の教員を目指す人、言語習得に興味のある人にお勧めしたいテーマです。意欲、レベルに応じた形で英語でのディスカッション、プレゼンテーションをしていただきます。

質問・相談:

tanabe@gen.t-kougei.ac.jp から教員に受講についての質問ができます。遠慮なくご相談ください。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

教育言語学の文献を原書で読む

講座番号: 144

セット履修

田辺 寛

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

皆さんにとって外国語の習得は過去、現在そしてこれからの自己実現に深く関わっていると思います。教育言語学というテーマで、

著名な応用言語学者による外国語の習得のメカニズム、習得法についての様々な英語の文献を読みます。この授業はContent Based Approachという指導哲学に基づいて行います。授業で扱う題材に対する興味とそこから生まれる学習動機によって学習を継続することが理想です。

発表形式を中心に、精読、多読を併用しながら、読んだ内容について理解を深めるためのグループディスカッション、プレゼンテーションを通して自然に英語読解力を高めようとするものです。発表形式をとりますので、事前に十分な予習が必要です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

発表内容、レポート、試験、授業への貢献度、出席をもとに成績が判定されます。

テキスト(教科書):

1. Krashen, Stephen D., and Terrell, T. (1988). *The Natural Approach*. Prentice Hall. ISBN:0-13-609934-3
2. Krashen, Stephen D. (2004). *The Power of Reading*. Heinemann. ISBN: 1-59158-169-9

他、応用言語学、社会言語学、心理学、行動学等の文献。授業で指示します。変更があり得るので事前に準備する必要はありません。

参考書:

Wallace, J.M. (1980). *Study Skills in English*. Cambridge University Press.

担当教員から履修者へのコメント:

英語の学び方、教え方についてのテーマを扱い、学んだことを実践的に活用します。専門分野に直結する文献をしっかりと読んで、議論することを期待する人に向けたクラスです。将来外国語の教員を目指す人、言語習得に興味のある人にお勧めしたいテーマです。意欲、レベルに応じた形で英語でのディスカッション、プレゼンテーションをしていただきます。

質問・相談:

tanabe@gen.t.kougei.ac.jp から教員に受講についての質問ができます。遠慮なくご相談ください。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

American Cultural History を読む

講座番号: 145

セット履修

辻 秀雄

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

読み応えのある英語で書かれたアメリカ文化を題材にしたテキストを講読し、大学教養レベルにふさわしい英語力を身につけることを目標とします。

以下のような事柄に重点を置いています:

- ・学術文章レベルの英語を理解する。
- ・アメリカ文化についての基礎事項を学ぶ。
- ・文化理解の今日的な視座にふれる。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席状況および授業態度による評価) 10%

発表30%

学期末試験の結果による評価60%

テキスト(教科書):

Eric Avila, *American Cultural History: A Very Short Introduction* (Oxford UP)

ISBN: 9780190200589

参考書:

授業内で紹介

担当教員から履修者へのコメント:

1段落ごとに担当者を決めて発表をしてもらう予定です。発表内容は、段落のまとめ、難しい英語表現等の解説、文化や歴史に関わる事柄の解説。履修者はレッスン範囲のテキストを読んで授業に臨み、発表に対して質問やコメントをしてもらいます。

授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなし、遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。5回以上欠席した者は成績評価の対象から外します。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

Basic Reading Strategies

講座番号: 146

セット履修

津田 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英語を一語一語日本語に置き換えるのではなく、英文を読んで自分が必要としている情報を得る、または内容を正しく理解するために必要な基本的なストラテジーの習得、実践的な英文読解能力の向上を主たる目的とする。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加度、内容の理解度などの平常点に、春、秋学期計2回のテストの結果を加え評価判定をする。

テキスト(教科書):

プリント配布(テキスト購入の必要はない)

担当教員から履修者へのコメント:

授業中に多くの課題を与えるので、その一つ一つに真摯に取り組むこと、ペアまたはグループでの作業に積極的に参加することなど、平常点を重視する。詳しいことは初回の授業で説明する。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

エッセイと映画化された小説から学ぶ英語

講座番号: 147

セット履修

徳永 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、毎回のクラスで一定量の英語の文章を読み、総合的な読解力のさらなる強化を目指します。またテキストの内容について、クラスの仲間とディスカッションしたり、口頭発表をする練習も行いましょう。

春学期はH. G. Wellsの作品を取り上げます。授業では、20世紀初頭にしてインターネットやウィキペディアの到来を予見していたことを思わせる、彼の名エッセイ「世界頭脳」を取り上げます。秋学期には、映画化された短編小説と一緒に楽しみましょう。1~3回ごとに1編読んだ後、原作と映画の比較分析を口頭発表してもらいます。

また、Wellsの名作SF『タイムマシン』(多読教材用のリトールド版)を自習課題図書とします。定期的に小テストを実施し、多読による読解力の強化を年間を通じて図ります。

授業では、年間を通して、グループ・ディスカッションや英語での口頭発表の時間も取り入れる予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

テスト、口頭発表、平常点(出席、予習、授業への取り組み、課題物の提出)の総合点で評価します。

テキスト(教科書):

・H. G. Wells, 『ワールドブレイン-H・G・ウェルズの「世界頭脳」』 *The Brain Organization of the Modern World* (東京: 開文社, 2009)

ISBN: 978-4-87571-477-4

・H. G. Wells, *Time Machine*. Pearson English Readers Level 4. ISBN: 9781405882347

・その他、プリントをkeio.jp上で配布します。

参考書:

随時紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業への積極的な参加を皆さんに期待しています。必ず予習をして授業に臨んでください。特別な事情を除き、発表当日の欠席は原則として認めません。各学期ともに4回以上欠席すると単位取得は難しくなります。

質問・相談:

授業の前後、メール、事前の予約による面談で受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

映画とスクリプトから学ぶ英語

講座番号: 148

セット履修

徳永 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

映画を題材として、総合的な英語力（とくに読解力・聴解力）のアップを目指します。

春学期は、*Before Sunrise*を取り上げます。見知らぬ土地で出会い、共に一日を過ごすことになった20代の男女二人が織りなす会話には、みなさんも共感できるテーマがちりばめられているでしょう。字面を追うだけでなく、想像力をフルにはたらかせて場面をイメージしたり、会話の行間を読み取ったり（練習したり）しましょう。毎回の授業では、脚本の読解後に、映画の視聴を通してリスニングや発話の練習も行う予定です。秋学期には、Paul Austerの短編小説、「Auggie Wren's Christmas Story」をベースにして制作された名作、*Smoke*（監督・Wyne Wang、脚本・Paul Auster）と一緒に楽しみましょう。視聴する度にあらたな発見や気づきのある作品です。

授業では、年間を通して、グループ・ディスカッションや英語での口頭発表の時間も取り入れる予定です。また英語を（日本語に細かく訳さず）英語のまま捉える練習のために、Graded Readersを用いた多読の練習やスマホ・アプリを用いたリスニングの課題などを予定しています。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

テスト、口頭発表、平常点（出席、予習、授業への取り組み、課題物の提出）の総合点で評価します。

テキスト(教科書):

- *Before Sunrise and Before Sunset* (New York: Vintage, 2005) ISBN: 9781400096046

- *Smoke* (Tokyo: Shohakusha, 1995) ISBN: 9784881984574

生協で購入してください。

参考書:

- 語彙・読解・聴解練習のためのプリントを随時配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

予習をして授業に臨むこと。また特別な事情を除き、発表担当日の欠席は原則として認めません。

質問・相談:

授業の前後、メール、事前の予約による面談で受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

さまざまな英語とその文体を学ぶ

講座番号: 149

セット履修

中村 哲子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、さまざまな英語を読んで文体の違いが感得できるようになることを目指します。多様な文学作品のリーディングを基盤として、関連事項について書かれた事典の解説、論文、ジャーナリスティックな記事などに触れることで、英語を多角的にとらえる姿勢を身につけます。基本的には精読ですが、時に応じて、速読を行ったり、関連動画でリスニングにも挑戦します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

記述テスト（50%）、課題（28%）、授業内パフォーマンス（22%）の合計点にて評価する。

テキスト(教科書):

『English through Literature —— 文学で学ぶ英語リーディング』斎藤兆史・中村哲子編（研究社 ISBN:978-4-327-42185-4）；プリント配布／オンライン資料活用

参考書:

各種辞書（授業にて指導する）

担当教員から履修者へのコメント:

出席重視。授業開始時に出席している学生を出席者とみなす。各学期に出席者とみなされない授業が4回を越えた場合には、単位取得がきわめてむずかしい。各授業で明確にする予習箇所について、辞書を用いてきちんと準備を行い、提出物はきちんと締切までに提出す

ること。なお、keio.jp の教育支援システムを活用する。授業の進度は、状況に応じて前後することがある。

質問・相談:

授業の前後に対応し、必要に応じてe-mail を利用する。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

これであなたも教養人！——知的に英語をよむために

講座番号: 150

セット履修

新名 ますみ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

皆さんはこの大学に入るまでに数多くの英文を読んできたでしょう。英文法も不足なく学んできたことでしょう。ですから、もう英文を読むという行為は完成されたと思っているかも知れません。しかし、意味は十分に取れているはずの英文を「知的に読む」となったらどうでしょうか。内容を具体的に把握し、言葉遣いやリズムにも注目し、皮肉やユーモアを拾い上げ、さらに言外に示唆された主張を読み解こうと言われたら、どうでしょうか。少なからず戸惑うのではないのでしょうか。

そのようなチャレンジにふさわしいのが、イギリスの二大高級紙『タイムズ紙』と『ガーディアン紙』です。イギリス人の教養を体現していると言っても過言ではないこの二紙のコラム記事には、多岐にわたる題材、豊かな表現、鋭い洞察が展開されています。「四人の更生なら野生馬をどうぞ」「VRで恐怖症克服！？」などなど興味をそそられる記事を読みながら、英語のみならず文化や考え方を学び、知的世界に足を踏み入れていきましょう。

授業は朗読、和訳、解釈をしながら進めます。和訳は全員に丁寧に予習をしてきてもらいます。同じ箇所を2、3人に披露してもらうので、型どおりではない自分なりの訳ができるように心がけましょう。解釈においても、具体的な描写や作者の考えなど、実際のイメージを掴んできてください。1回の講義で2頁前後進む予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

評価方法: 平常点重視。

出席、予習、発言など平常点: 60%

学期末試験: 40%

上記以外の条件:

小テスト・学期末試験の合計点数がクラス平均点以下である時には、総合としてはSの基準点に達している学生であっても、評価はAに下がります。

小テスト・学期末試験の合計点数がクラス最低点である時には、総合としてはBの基準点に達している学生であっても、評価はCに下がります。

テキスト(教科書):

田中孝信他編著『「タイムズ」と「ガーディアン」でめぐる知の世界』田中孝信他編著 鶴見書店 2016年 ISBN:978-4-7553-0375-3

担当教員から履修者へのコメント:

テキストの英文を予習として全員に英訳してきてもらいます。綿密な英文和訳の作業や精読に興味がない学生には不向きな授業と承知してください。

試験結果や成績の詳細については、授業内のメッセージから個別にお知らせします。

質問・相談:

授業（出講：火1、2限、金1、2限）の前後に、教員室、又は担当教室の廊下にて受け付けます。

又は、下記のメールアドレスまで連絡してください。

m-niina@keio.jp

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

Reading a Novel by Kazuo Ishiguro

講座番号: 151

セット履修

沼田 香穂里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this course is to help students to develop their English language skills through reading *Never Let Me Go* by Kazuo Ishiguro. Ishiguro won the Nobel Prize in Literature in 2017. With his mysterious

quasi-science-fiction the author seems to offer us an opportunity to think about what matters in our life. Is it innocence? truth? love? or creativity? Intensive reading will be required of students while searching for the profound meaning hidden in the story. In the class we will read the textbook while translating it into Japanese (Spring Semester), or finding and discussing the important points (Fall Semester). Through reading the text, students can gain the English abilities necessary for further study in university.

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Grades are based on semester-end examinations, attendance and class participation. Students who are absent from the class more than three times each semester cannot take the semester-end examination.

テキスト(教科書):

Ishiguro, Kazuo (2011). *Never Let Me Go*. Faber and Faber. ISBN: 9780571258093

担当教員から履修者へのコメント:

I look forward to teaching students who are motivated and have a positive attitude to express their opinion in the class.

質問・相談:

I will be available for students before and after class for questions and consultations.

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

British and American Poems in Movies

講座番号: 152

セット履修

沼田 香穂里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this course is to help students to develop their English language skills through learning the poems quoted in movies. We will read a textbook which introduces British and American poems from Shakespeare to W. H. Auden, with an explanation of the story of the movies they are in. We will also refer to films such as *Roman Holiday* and *Four Weddings and a Funeral* while watching the scenes in which the poems are quoted. Through interpreting a poem in detail and considering its background, students can gain the reading skills necessary for further study in university.

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Grades are based on semester-end examinations, attendance and class participation. Students who are absent from the class more than three times each semester cannot take the semester-end examination.

テキスト(教科書):

Zitowitz, Philip. (2005). *The Poetry of Film*. Kinseido. ISBN 4-7647-0977-5

担当教員から履修者へのコメント:

I look forward to teaching students who are motivated and have a positive attitude to express their opinion in the class.

質問・相談:

I will be available for students before and after class for questions and consultations.

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

現代英語でアーサー王物語を読む

講座番号: 153

セット履修

辺見 葉子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は、中英語のアーサー王ロマンスの傑作 *Sir Gawain and the Green Knight* (『ガウェイン卿と緑の騎士』) を現代英語散文訳で読みます。

秋学期には、春学期に読了した *Sir Gawain and the Green Knight* に関する論考を読みます。

またより広い文脈から作品への理解を深めるため、関連するアイルランドの神話物語を読み、それらを踏まえて、学問的な論考も読みます。

専門課程で必要とされる学術的な文献読解力へとつなげることを目的とします。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 [予習・授業中の学習状況] (50%)、春・秋期末試験 (50%)

テキスト(教科書):

keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

担当教員から履修者へのコメント:

授業には予習を完全にした上で臨むことが求められます。

質問・相談:

随時受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

J.R.R. トールキン訳の古英語叙事詩『ベオウルフ』を読む

講座番号: 154

セット履修

堀 美里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、J.R.R. トールキン訳の古英語叙事詩『ベオウルフ』を読みます。『ベオウルフ』は古英語で書かれた英雄叙事詩であり、ベオウルフというひとりの英雄の生涯を主に 2 部に分けて描いています。文学、言語、考古学など様々な分野で多くの研究がされてきました。

今回私たちが読むテキストは、オクスフォード大学教授として古英語を教えていたトールキンがその詩を現代英語散文訳にし、注釈を付したものです。テキストを読みながら、トールキンが付した注釈を読み、彼がどのように『ベオウルフ』を理解していたのか、テキストを読むときにどのような点を気を配って読むべきかを考えます。この詩を読むうちに、英語の歴史、語源、文学、書体、写本など、この詩をめぐるあらゆる視点や知識と出会うことになるでしょう。

テキストを学問的に読む際の読み方の初歩を学び、現代英語で詩を鑑賞する力を養います。特に音読も重視します。テキスト以外に、主に注釈を読むことになりしますので、Oxford English Dictionary など学問的な辞書を引いて調べながら読む力を養います。映画を見て議論することも組み入れる予定です。短時間のプレゼンテーションも予定しています。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点30%(出席・予習への取り組み)、プレゼンテーション30%、期末試験40%。

テキスト(教科書):

J. R. R. Tolkien. *Beowulf: A Translation and Commentary together with Sellic Spell* edited by Christopher Tolkien. London: HarperCollins Publishers, 2014.

keio.jp にアップロードしますので、各自でダウンロードしてください。自身で購入しても構いません。

参考書:

指定のテキスト以外に必要な資料がある場合は、授業中に適宜配布します。

【古英語版の『ベオウルフ』からの日本語訳】

『中世イギリス英雄叙事詩ベオウルフ』 忍足欣四郎訳 岩波書店・東京、1990年。

担当教員から履修者へのコメント:

西洋(主にイギリス)の古い文学や伝説、叙事詩に関して興味関心があり、英語(場合によっては古い英語や文体で書かれた作品)とその内容を丁寧に理解してじっくり取り組みたいという方を歓迎します。授業には必ず辞書(いかなる媒体も可)を持参して臨んでください。

質問・相談:

授業前・授業中・授業後、またメールでも受け付けます。メールアドレスは初回授業で通知します。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

キリスト教美術についてのイントロダクションを読む

講座番号: 155

セット履修

堀 美里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、Beth Williamson 著、*Christian Art: A Very Short Introduction*を読みます。キリスト教美術(芸術作品)についての知識を深める共に、聖書の物語を読んだり、聖書の物語における重要な人物(聖母マリアやその他の聖人など)についての理解をこの著書の構成にしたがって深めていきます。"Art"という語がついていながら、キリスト教美術は西洋の歴史、政治、神学や哲学などを多面的にとらえる第一歩になります。

アカデミックな英語を正確に読めること、自ら興味を持って調べながら英文を読むことを目標にします。学術的な英語を読む力を養い、今後も自ら英語文献にアクセスできるよう訓練します。また、前期・後期共に、学生自身が選んだ芸術作品とその物語に関して、短時間での英語によるプレゼンテーションも予定しています。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点30%(出席・予習への取り組み)、プレゼンテーション30%、期末試験40%。

テキスト(教科書):

Beth Williamson, *Christian Art: A Very Short Introduction*. Oxford: Oxford University Press, 2004.

自身で購入するか、keio.jpにテキストをアップロードしますので、各自でダウンロードしてください。慶應義塾図書館のオンラインデータベースでもデジタル版が利用できます。

参考書:

指定のテキスト以外に必要な資料がある場合は、授業中に適宜配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

西洋の文化、歴史、美術、聖書に関して興味関心があり、英語とその内容を丁寧に理解して取り組みたいという方を歓迎します。授業には必ず辞書(いかなる媒体も可)を持参して臨んでください。

質問・相談:

授業前・授業中・授業後、またメールでも受け付けます。メールアドレスは初回授業で通知します。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

アメリカ映画のマイノリティ表象を読み解く—二分法を超えて

講座番号: 156

セット履修

溝部 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現代社会の課題である人種・階級・ジェンダー・セクシュアリティを切り口にアメリカ映画を論じた *America on Film* (2009 Second Edition) から 'Ability' を視点に据えた Part VI を読みます。主な目標は2つです。

まず、精読を通して論理的な文章に慣れるとともに、文の構造や修飾関係をしっかりと把握した上で英文を正確に読み取る力を養うことを目指します。テキストは全部で15の章から成っており、春学期に前半の8章を、秋学期に残りの7章を読みます。ただし、全ての章を精読するのではなく、各学期とも2~3章は速読する予定で、休み中の課題とする章や扱わない章もあります。

2つめの目標は、アメリカ映画におけるマイノリティ表象を分析しつつ、グループトークなどを通して日本社会における差別についても考えることです。あわせて、調べたことや考えたことを英語で議論、発信していくために必要な語彙の習得と定着も目指します。そのため、各学期2回ほど Vocabulary Test を実施します。

授業は訳読が中心となりますが、プリント教材による読解演習もはさみながら、意味や構文の取りにくい文に特に注意を払いながら読んでいきたいと思えます。また、読んだ内容を実際に確認し、グループトークの材料とするため、映画鑑賞の時間を設ける予定です。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春・秋学期とも期末テストを実施します。評価はその結果と平常点(出欠状況、授業態度、予習ができてきているかどうか、小テストの結果、課題の出来具合など)を総合して行います。

テキスト(教科書):

Harry M. Benshoff & Sean Griffin, *Ability and American Film* (2013 英宝社) ISBN:978-4-269-11007-6

担当教員から履修者へのコメント:

予習を前提に授業を進めます。読んでわかったと思うのと日本語に直すのは別ですので、きちんと訳して来て下さい。当てられてから改めて辞書を引いて訳すのにもたついたり、人や機械に頼ったりする場合は予習をしていないものと見なし、減点の対象となります。また、疑問点を明確にして授業が復習の場になるようにしましょう。主体的かつ地道な努力なしには本当の力はつきません。なお、英文の課題は、原則として、個々にコメントを付けて返却。また、必要に応じ、講評の形で授業中にフィードバックします。

質問・相談:

授業の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

UKロックを通して見るイギリス現代史

講座番号: 157

セット履修

溝部 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

若者文化の勃興は第2次世界大戦後多くの国で見られた現象ですが、イギリスでは、その栄枯盛衰は時代と密接に結びついており、特にロックの歴史にはその時々のイギリス社会の状況や人々の心理が色濃く反映されています。本授業では、50年代に始まるUKロックの歴史を現代までたどったテキストを使い、イギリスにおけるそうした社会と文化の関係を見ていきます。主な目標は2つです。

1つめの目標は、UKロックの歴史を辿ることでイギリスに対する理解を深めるとともに、大衆文化を楽しみの対象としてだけでなく社会分析の手段としてとらえ、社会と文化の関係を歴史的にとらえることが出来るようになることです。そのため、参考として映画鑑賞の時間も設けます。

次に、テキストの精読を通して語彙力と読解力の強化を目指します。特に、単語の意味をつないで適当に文意を類推するのではなく、文の構造を正確に把握した上で内容を理解する力を養うことが目標です。勘頼みの読解は卒業し、応用力の基礎をしっかりと固めましょう。また、語彙力の定着を図るため、原則として精読したユニットごとに Vocabulary Test を実施します。

授業では以上の2つの目標を念頭に、春、秋学期とも対象となるユニットのうち4ユニットほどを精読し、残りは速読する予定です。訳読が中心となりますが、一文一文丁寧にというよりは、意味や構文の取りにくい文に特に注意を払いながら読んでいきたいと思えます。テキストの Debate & Further Research のセクションについては、そのうちのいくつかを個人またはペア/グループで取り組んでもらい、時代ごとのイギリス社会を特徴づける側面についてもいくつか取り上げる予定です。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春・秋学期とも期末テストを実施します。評価はその結果と平常点(出欠状況、授業態度、予習がきちんと出来ているかどうか、小テストの結果など)を総合して行います。

テキスト(教科書):

Paul Hullah & 寺西雅之, *Rock UK - A Cultural History of Popular Music in Britain* (2012 CENGAGE Learning) ISBN:978-4-86312-204-8 C3082

担当教員から履修者へのコメント:

授業は予習が前提です。一読してわかったと思うのと日本語に訳すのは全く別物ですので、きちんと訳して来て下さい。当てられてから改めて辞書を引いて訳すのにもたついたり、人や機械に頼ったりする場合は予習をしていないものと見なし、減点の対象となります。また、予習の段階や授業中に生じた疑問点はそのままにせず、積極的に質問して解消するようにしましょう。主体的かつ地道な努力なしには本当の力はつきません。なお、英文の課題は、原則として、個々にコメントを付けて返却。また、必要に応じ、講評の形で授業中にフィードバックします。

質問・相談:

授業の前後に随時受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

本を片手にロンドンの街を歩く

講座番号: 158

セット履修

若澤 佑典

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

高校英語において「問い」とは、テストで与えられるものでした。大学の研究では、みなさん自身が問いを設定し、テキストを論じていくことが求められます。この授業では読書中の「ひっかかり」や「もやもや感」といった気づきを、アカデミックな議論へと昇華する練習をします。クラスで「ワイワイ・ガヤガヤ」と賑やかにやり取りする中で、知が深まっていく過程を体験していきましょう！

教材としてアイリス・マードックの小説『網のなかで』を用います。この物語ではアパートを追い出された主人公たちが、ロンドンの街をあちこち動きまわります。女優や映画ディレクター、哲学者、雑貨屋の女店主など、ロンドンに住まうさまざまな人が登場します。履修者のみなさんと小説を読み進め、ロンドンの地理や文化について、イギリスの人々のあれこれを、一緒に考えていきたいと思えます。何よりマードックの英語はとても愉快で、さらに思索的です。彼女の"wit"を通じ、言語理解・表現を深めていきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

毎週の授業課題に対するレスポンス 60%

学期末課題 (プレゼン/レポート) 40%

テキスト(教科書):

Murdoch, Iris. (2019). *Under the Net*. 2019 Centenary Vintage Classics ed. Vintage. ISBN: 9781784875213

参考書:

『「ドラキュラ」からブンガク: 血、のみならず、口のすべて』武藤浩史著、慶應義塾大学出版 2006年 ISBN: 978-4-7664-4-1280-2

『愛と戦いのイギリス文化史 1900-1950年』武藤浩史ほか編、慶應義塾大学出版 2007年 ISBN: 978-4-7664-1-328-1

『深読み名作文学 O.ヘンリー「最後の葉」』横山千晶編著、慶應義塾大学出版 2015年 ISBN: 978-4-7664-2211-5

担当教員から履修者へのコメント:

この授業はテキストに「応答する」ことを練習する場です。履修者のみなさんが思ったこと、感じたことを話してもらうことで授業が進んでいきます。どんなことでもいいので (一見関係なさそうなことでも) ぜひクラスでいろいろしゃべってみてください。

またイギリス文学・文化に限らず、みなさんの興味関心にあわせて「問い」を広げていければと思います。例えば美術や映画に対する興味、フランスやイタリアなどへの視点、サークルやアルバイトなど大学生活の日々で感じたことなど、さまざまな体験・思いと結び付けて文献講読をすすめていきます。大学一年次の授業であることを踏まえ、高校のホームルームのような雰囲気を進めていくことを考えています。

質問・相談:

履修者の希望にあわせ、授業時間内に個人/グループ面談の機会を設けます。授業内で喋り足りないようであれば、授業後の時間に質問・討議に対応します。

初回授業で連絡用のメールアドレスを公開します。事前にアポイントをとっていただければ、金曜 5 限の授業前に対応することも可能です。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

Social Issues in Everyday Life

講座番号: 159

セット履修

和氣 直子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

授業の始めには、リスニングと音読を繰り返すことにより、英語らしい自然な発音やリズムを身につけると同時に、語彙力を強化します。次に、日常生活の中で私たちが直面する身近な法制度、雇用、ジェンダー等に関する事例について読みながら、英語の読解力、英語で考える力、英語で書く力を養っていきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Evaluation will be based on attendance, class performance, tests, presentations and assignments.

テキスト(教科書):

Handouts will be provided in class.

参考書:

References will be provided as needed in class.

担当教員から履修者へのコメント:

Always remember to bring an English dictionary to class.

Mobile phones are not allowed during class.

質問・相談:

Students are welcome to ask questions before, during, or after each class.

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

Law and English in American Society

講座番号: 160

セット履修

和氣 直子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

アメリカの社会と文化を特徴付けるものとして、法と法制度が根強く影響していることが挙げられます。この授業では、アメリカらしい裁判や社会に関するストーリーを精読・討論したり、社会問題について書いたりすることにより、英語の読解力、英語で考える力、英語で発信する力を養うことを目標とします。また、日本の社会等についても取り上げます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Evaluation will be based on attendance, class performance, tests, presentations and assignments.

テキスト(教科書):

Handouts will be provided in class.

参考書:

References will be provided as needed in class.

担当教員から履修者へのコメント:

Always remember to bring an English dictionary to class.

Mobile phones are not allowed during class.

質問・相談:

Students are welcome to ask questions before, during, or after each class.

【中級発展】

英語Ⅰ 中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ 中級発展 1単位(秋学期)

Reading and Writing Strategies 上級

講座番号: 161

セット履修

赤江 雄一

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、よくデザインされた教科書を用いて、読解スキルとストラテジーを段階的に身につけることで、批判的読解力の向上を促します。その過程で得た語彙や文章構造についての知識を、アカデミックな英語の文章に適用する訓練も行います。

秋学期は、春学期で学んだスキルを活かしながら実際の英書も講読していきます。イギリスでは広く知られる著名な研究者であるメアリー・ピアードらによる読みやすい西洋古典(学)の入門書を取りあげます(大英博物館を訪れて、そこに展示されているギリシャのパッサイのアポロ神殿の彫刻を読むところから本書ははじまり、この彫刻を軸にして、ギリシャ・ローマ古典の発見と、それが歴史を通じて再解釈されつづける様を現代にまでふれつつ論じていきます)。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

テスト50%、提出課題30%、平常点20%

テキスト(教科書):

Jessica Williams and Pamela Vittorio, *Making Connections: Skills and Strategies for Academic Reading, Level 4 Student's Book*, 2nd edition (New York: Cambridge University Press, 2015) ISBN: 9781107516120; Mary Beard and John Henderson, *Classics: A Very Short Introduction* (Oxford University Press, 2000) ISBN: 9780192853851 (ebook version--e.g. Kindle version--allowed.) 後者は春学期開始時に入手必要ありません。

英語Ⅰ 中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ 中級発展 1単位(秋学期)

George Orwell's *Animal Farm*

講座番号: 162

セット履修

ウェブスター, ダニエル J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、ジョージ・オーウェルの寓話的小説"Animal Farm"を取り上げ、それについて書きディスカッションをします。この小説は、もともとはジョセフ・スターリンの独裁主義を批判したのですが、文学的な面、社会的/政治的な面、また歴史的な面からなど、さまざまなアプローチが可能なので幅広い興味を持つ学生にとっておもしろいものになると思います。

ディスカッションでは、小説のテーマが、スターリン時代のソビエト連邦だけでなくどのような社会にも普遍的な問題として当てはまるのかについて話し合っていきます。

受講する学生には、この小説にあらわされている寓話がどのような歴史的事実をさしているのかについて自分でリサーチすることを求めます。

授業はすべて英語で行います。

授業では、英語で書く事および英語でのディスカッションに積極的に参加することが必須です。その為の準備をして毎回授業に来ていることを前提として授業を進めます。

よい英和/和英辞書を持参してください。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況、宿題への取り組みおよびその質、必要なりサーチを行っているか、授業に積極的に参加しているかを、もとに評価します。本に書かれているテーマを学生たちがどのくらい理解度しているかによって、試験を実施する可能性もあります。しっかり理解していると判断できた場合には、試験は行いません。

テキスト(教科書):

George Orwell 著 『Animal Farm』, ISBN : 9780141182704

担当教員から履修者へのコメント:

毎回授業に来る前に何ページか読んでくるよう宿題を出します。また、英語を書く事および英語でのディスカッションへの積極的な参加を要求しますので、そのつもりで履修してください。

授業はすべて英語で行います。

良い英和/和英辞書をもって授業に参加してください。

英語Ⅰ 中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ 中級発展 1単位(秋学期)

"Tuesdays with Morrie"を通して、社会そして生きる事の意味を考える

講座番号: 163

セット履修

ウェブスター, ダニエル J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ミッチ・アルボムのノンフィクション、"Tuesdays with Morrie"をテキストに、英語でのディスカッションなどをとおして、「生きる事の意味」を考える授業にしたいと思います。

"Tuesdays with Morrie"は、著者ミッチ・アルボムが、学生時代の彼の社会学の先生であり現在は筋萎縮性側索硬化症の為余命幾ばくもないモリー・シュワルツ教授と再会し、日々死に近付いていく恩師との「最後の授業」をとおして、自分の人生を見つめなおした体験を書いたノンフィクションです。この本は、アメリカではベストセラーとなっており、比較的平易な英語で書かれています。生きる事/人生の意味を英語でディスカッションし、また、英語を書く力を高めたいと思う学生には、興味の持てる内容ではないかと思います。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況、宿題への取り組みおよびその質、必要なりサーチを行っているか、授業に積極的に参加しているかを、もとに評価します。

テキスト(教科書):

Mitch Albom 著 『Tuesdays with Morrie』ペーパーバック版 Broadway 出版 ISBN: 978-0-7679-0592-3

担当教員から履修者へのコメント:

毎回授業に来る前に何ページか読んでくるよう宿題を出します。また、英語を書く事および英語でのディスカッションへの積極的な参加を要求しますので、そのつもりで履修してください。

授業はすべて英語で行います。

良い英和/和英辞書をもって授業に参加してください。

英語Ⅰ 中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ 中級発展 1単位(秋学期)

随筆を読む

講座番号: 164

セット履修

宇沢 美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中級発展レベルの読解力養成のコースです。このクラスでは、G.K.Chestertonの"On Running after One's Hat"をはじめとする古典的な名文から、Zora Neale Hurston, Virginia Woolf, Amy Tanなど、20-21世紀の作家たちによる名随筆文を読みます。用いているレトリック(修辞、言い回し)、論理、そして論の建て方などに注意しながら読み、随筆の書き方を分析します。春学期は比較的短いからはじめ、秋学期は長めのものを読もうと思います。予習ならびに出席は必須です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

試験の結果による評価 (50%)

レポート等による評価 (20%)

平常点: 出席状況および授業態度による評価 (30%)

により総合的に評価します。

テキスト(教科書):

keio.jpから配布します。

質問・相談:

uzawa@flet.keio.ac.jp で随時受け付けます。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

絵画で学ぶイギリス文化史

講座番号: 165

セット履修

江崎 麻里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

多種多様な絵画と図版を用いて、イギリスの文化史を概観する。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

日常点(出席点・課題・発言) 60%

春学期・秋学期試験 40%

テキスト(教科書):

1. F. E. ハリデイ著『イラストで学ぶ概説イギリス文化史』(2) 英宝社 2000年 ISBN: 978-4-269-12018-5

2. F. E. ハリデイ著『イラストで学ぶ概説イギリス文化史』(3) 英宝社 2000年 ISBN: 978-4-269-12019-3

参考書:

授業中に随時、紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

遅刻厳禁。辞書必携。

地道に積み重ねていくことが好きな人に適した授業です。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

オーストラリア・ニュージーランドの短編小説を読む

講座番号: 166

セット履修

加藤 彩雪

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、オーストラリアとニュージーランドの短編小説を読みます。春学期は、ニュージーランド出身のキャサリン・マンスフィールドの短編を精読します。秋学期は、オーストラリア・ニュージーランドの文学史を概観しながら、国民的作家であるH・ローソンから現代において活躍する作家を取り上げる予定です。英語と日本語の表現の違いを学びながら、英語を読む力を向上させます。南半球の文化・文学・英語に触れる時間となると思います。

授業では、まず段落全体の大まかな内容を把握し、次に一つ一つの文章の意味を確認していきます。基本的な文法事項、段落の構造、時代背景を確認しながら、「批判的に読む力」、情感豊かに「登場人物の心理を読み取る力」を養うことを目指します。また、学習した作品に関するグループディスカッションを行うことで、自分の意見を発信するだけでなく、クラスメイトの意見を聞く作法も身につけます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は、平常点(出席および授業参加度)と、定期試験を総合的に評価します。

テキスト(教科書):

Mansfield, Katherine (2015). *The Garden Party and Other Stories*. Nan'undo. ISBN:978-4-523-03603-6

その他プリント配布(keio.jp)にアップしますので、授業には各自プリントアウトしたものを持参してください

参考書:

授業にて適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

該当箇所の予習をし授業には辞書を持ってきてください。

質問・相談:

質問・相談は授業終了後または、メールにて受けます。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

ディズニー映画の映し出す社会

講座番号: 167

セット履修

倉科 真季

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、ディズニーアニメを社会的・文化的な観点から読み解くことを目的に書かれた映画論をテキストとします。文章の精読を通して英語のリーディング能力の向上を目指すと共に、文学作品

や映画をアカデミックな視点から分析・批評するとはどのようなことなのか、論文の読解を通して学んでいけたらと考えています。扱う映画を適宜紹介したり、グループワークやプレゼン等を行ったりしながら内容理解を深めた上で、映画やテキストに対する学生各々の意見や見解をクラスで共有できるように授業を進めていくつもりです。

加えて速読やリスニングの訓練の目的で、授業の始めにエクササイズ等を課す予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(授業参加の態度、課題、発表) 50%+期末試験50%で総合的に判断します。

テキスト(教科書):

國友万裕、安田優編注『ディズニーアニメと多様化する社会』*Disney Films and Secret Messages: Race, Ethnicity, Gender and Sexuality* (英宝社、2019年) ISBN: 978-4-269-11008-3

参考書:

授業内でその都度紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業では担当者に毎回発言を求めするので、きちんと精読をした上で授業に臨むことが基本となります。個々の文章の意味を理解するだけでなく、文章の前後関係を把握し行間を読むレベルにまで到達できるように心がけて授業を行うので、履修者の皆さんもそのつもりで学習を進めてください。

質問・相談:

授業内や授業後のほか、初回にお知らせするメールアドレスにて受け付けます。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

慶應義塾大学図書館所蔵のグーテンベルク 42行聖書の歴史を読む

講座番号: 168

セット履修

小竹 直

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

今年度の講義では、慶應義塾大学図書館所蔵のグーテンベルク42行聖書の歴史に関するM. L. Davis's *The Lost Gutenberg*という書籍を読み進めることで、英文を正確に読む力を養うことが本講義の目標です。

世界で50冊にも足りない数しか現存しない非常に貴重なグーテンベルク聖書の一冊が慶應にあります。1996年に慶應にたどり着くまでの500年以上、この一冊の書物はどのような歴史をたどってきたのでしょうか。本講義では上記Davisの著書を頼りにその歴史をだどっていきます。この本をめぐるドラマを追いかけると同時に、グーテンベルクによって発明された活版印刷の技術やそれ以前の手書き本の時代についての歴史背景についても理解を深めていきます。

授業では、発表形式で一定量を読み進めながらも、精読も重要視していきます。また適宜映像資料を紹介し、視覚を通して対象の理解を深めるとともに、音声から英語を理解する能力の向上にも努めます。授業内で写本や初期の印刷本の断片に触れる機会を設けるほか、希望があれば三田図書館の貴重書を利用した授業の開催も検討します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

期末試験(60%), 平常点[出席、予習・授業中の学習状況](40%)

テキスト(教科書):

初回授業で説明しますので、教科書購入の必要はありません。

参考書:

授業内で指示します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業には辞書(電子辞書も歓迎)を持参してください。予習・復習は必須です。とくに書物史・西洋史・西洋美術・中世文学・宗教史などに関心のある学生の参加を期待しますが、予備知識は必要ありません。積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。またメールでの相談も受け付けます(アドレスは初回授業時に通知します)。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

精読入門－短編小説を読む

講座番号：169

セット履修

坂本 光

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

主に短編小説をテキストとし、効率よく正確に英文を理解するためのトレーニングを行います。

外国語であれ母語であれ、正確な読解には、十分な語彙と構文の認識、そしてコンテキストへの理解が重要です。この授業では、特に構文とコンテキストへの感覚を、バランスをとりながら磨いてゆくことを目標とします。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

▶成績評価は「春学期平常点」25%、「春学期中間・期末試験」25%、「秋学期平常点」25%、「秋学期中間・期末試験」25%の比重で算出します。

▶各学期「平常点」は、予習の成果、授業参加への積極性や小テスト等から算出します。

▶通年欠席6回で不合格、遅刻は欠席0.5回分として計算します。学期通り、サークル活動等による公欠は認めません

テキスト(教科書):

テキストはwww.keio.jp経由で配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

教室へは必ず英和か英英の学習辞典を持参すること。もちろん予習が必須であり、また授業を実力向上に結びつけるためには、復習も欠かせません。

質問・相談:

質問・相談を hikaru.sakamoto@keio.jp にて受け付けます。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

Learning English for Academic Purposes with TED Talks

講座番号：170

セット履修

佐藤 健

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業はTED TALKs(最大18分の様々なトピックに関する講演)を用い、総合的な英語スキルを伸ばすことを通して、専門科目を英語で学ぶ上での基礎能力を養うことを目的とする。加えて内容を受動的に理解するだけでなく、批判的な立場から解釈し自身の意見を表明できる態度を養成していく。

授業は基本的に教科書に沿って行われるが、プリントを配布して教科書と異なるタスクを実施する場合もある。またテキストとは異なるTED Talksを自身で選択・視聴して、その概要と自分の意見を他の学生に伝えるタスクも実施する。

授業ではペアやグループでの協働活動が多分に取り入れられるため、積極的な態度での受講を希望する。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席・授業内活動(小テスト・レポート・プレゼンテーション)・期末テスト(語彙・リーディング・リスニング)のスコアを合計し、60点以上の者に単位を与える

出席および授業内活動(70%)・期末テスト(30%)

テキスト(教科書):

Longshaw, R. et al. (2015). *21st Century Reading 4, Creative Thinking and Reading with TED Talks*. CENGAGE Learning. ISBN: 9781305265721

担当教員から履修者へのコメント:

授業内での能動的な態度を促すため、他の履修者との協働活動が必ず実施される。またグループやクラスに対してプレゼンテーションを行なう機会がある。また授業はコンピュータ(CALL)教室で実施されるため、授業中にコンピュータの操作を要求する場合がある

質問・相談:

授業時に直接質問するか、授業開講時に提示するメールアドレス宛に連絡すること。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

ファンタジー文学を読んでみよう

講座番号：171

セット履修

高橋 勇

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

As with the other English courses, this aims to improve the students' ability to use English effectively, especially for discussion and writing. To achieve the goal, we will read short stories by J. R. R. Tolkien, the acclaimed author of *The Lord of the Rings* and *The Hobbit* and discuss their themes and problems, etc.

The students are expected to read the assigned text for the week beforehand. In class some appointed students give a summary with a handout (in English) and the rest of the class are invited to participate in small group discussions giving their opinions and questions.

During the course, the students (in groups) are required to write "fantasy stories" of their own, hopefully inspired by Tolkien's stories, in English.

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

The evaluation will be based on the students' presentations (30%), performance and participation (50%), and exam results (20%).

テキスト(教科書):

J. R. R. Tolkien, *Tales from the Perilous Realm*, HarperCollins, 2009

参考書:

Handouts will be distributed.

担当教員から履修者へのコメント:

The course will be conducted basically IN JAPANESE, though a significant amount of activities will be in English. Participation in class discussions and other activities, both in English and in Japanese, is essential. Students also will be expected to prepare (at least two) English presentations and to write their own fantasy stories during each semester. Those who can and want to enjoy reading fantasy stories will be heartily welcomed.

質問・相談:

The students are encouraged to ask questions before or after class, or via email.

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

現代イギリスの小説を読む

講座番号：172

セット履修

高橋 宣也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

20世紀後半に活躍したイギリスの作家ミュリエル・スパークの小説を読みます。英語は比較的平明ながら、主人公の風変わりな中年女性の行動をたどるうちに、ひねりの効いた表現や時間的に前後する独特な構成を読み取る醍醐味を味わっていきます。読解の鍵は細部に宿るので、丹念に精読していきます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

- ・試験の結果による評価(年2回の学期末試験)
- ・平常点:出席状況及び授業時の成果による評価

テキスト(教科書):

Muriel Spark, *The Driver's Seat* (松柏社)

担当教員から履修者へのコメント:

十分な予習をして授業に臨んで下さい。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

Children's Literature and Neil Gaiman

講座番号：173

セット履修

チータム, ドミニク

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course has two objectives, to learn about children's literature, and to read and discuss children's novels written by Neil Gaiman.

In the first semester we will read two novels by Neil Gaiman: the very short *Fortunately the Milk*, and the longer *Coraline*. In the second semester we will read *The Graveyard Book*.

For each book we will read, discuss and write about the story, and use the story to help understand children's literature theory. There will be additional reading of introductory children's literature theory.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Attendance, class participation, class assignments and a semester test.

テキスト(教科書):

Fortunately the Milk, by Neil Gaiman (2013)

Coraline, by Neil Gaiman (2002)

The Graveyard Book, by Neil Gaiman (2008)

All three books for the year are available as a box set.

参考書:

There is no reference book for this class.

担当教員から履修者へのコメント:

The course has a reading base, so you can expect approximately one hour of reading or research homework each week.

質問・相談:

Students can ask questions in class, after class or by e-mail.

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

Children's Literature. Reading *The Lion, the Witch and the Wardrobe*, and *The Spook's Apprentice*.

講座番号: 174

セット履修

チータム, ドミニク

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course has two objectives; to learn about children's literature, and to read and discuss two children's novels: *The Lion, the Witch and the Wardrobe*, and *The Spook's Apprentice*.

For each book we will read, discuss and write about the story, and use the story to help understand children's literature theory. There will be additional reading of introductory children's literature theory.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Attendance, class participation, class assignments and a semester test.

テキスト(教科書):

The Lion, the Witch and the Wardrobe, by C.S. Lewis (1950)

The Spook's Apprentice, by Joseph Delany (2004)

参考書:

There is no reference book for this class.

担当教員から履修者へのコメント:

The course has a reading base, so you can expect approximately one hour of reading or research homework each week.

質問・相談:

Students can ask questions during class, after class or by e-mail.

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

Academic Skills: Presentations

講座番号: 175

セット履修

津田 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course aims to develop students' communication and language skills in order to plan and deliver an effective presentation in English. It provides students with the tools, experience and confidence they need to present their ideas and opportunities to be an audience, focusing on note-taking, asking for clarification, and offering appropriate questions and comments.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Grades will be based on:

- 1) Class participation
- 2) Assignments (e.g. preparation, research, reflections)
- 3) Presentations

テキスト(教科書):

Gershon, Steve. *Presenting Yourself Level 2*.

ISBN 9781107435780

担当教員から履修者へのコメント:

Active participation in class activities and pair/group work is essential to pass the course.

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

学術書の読解力養成

講座番号: 176

セット履修

徳永 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、学術書の読解に挑戦することで、専門書や論文を読みこなすために必要な英語読解力の養成を図ります。取り上げるテーマは「色」です。私たちの日常は、さまざまな色に囲まれています。普段意識することなく色を用いていますが、それぞれの色の識別は文化圏や時代によっても異なります。授業で扱う本は、各章が特定の色(赤、オレンジ、緑、青など)をテーマとしており、豊富な具体例と巧みな文章、そして鮮やかな色彩の図版を用いて、色の諸相の探求へと読者を誘います。本書の読解を通して、美術史、歴史、書物史、文学といった分野を、これまでとはまた少し違う視点から捉える機会となるかもしれません。最初は少し難しく感じるかもしれませんが、担当教員が解説を加えます。前提知識は問いません。年間の授業を通して、精読やグループディスカッション、口頭発表などの多様な学習スタイルを取り入れます。またリスニングや会話・発話のトレーニングも取り入れたいと考えています。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(出席、予習、授業への取り組み)、課題物の提出、テストの総合点で評価します。

テキスト(教科書):

David Scott Kaftan, *On Color*, with Stephen Farthing (New Heaven and London: Yale University Press) -- 図書館でオンライン版が入手できるので、購入の必要はありません。

担当教員から履修者へのコメント:

- ・予習をして授業に臨んでください。
- ・各学期、5回以上欠席すると単位取得は難しくなります。

質問・相談:

授業の前後、メール、事前の予約による面談で受け付けます。

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

サスペンス小説講読 [C]

講座番号: 177

セット履修

新名 ますみ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

サスペンス小説を読みながら、英語の豊かな表現を学びます。優れた作品には、緊迫感あふれる筋書きに加え、人物の心理描写や巧みさるユーモアが重要な要素となっていることが多いものです。それを楽しみながら読むことで、一語一語をおろそかにせず行間を読む力を習得します。内容も「詮索好きで嫌味な作家が目撃した殺人事件とは……?」や、「真夜中の電話は自分が殺したはずの女からだった……!」などなど、退屈しないで読んでいける筋書きとなっています。

作品は朗読、和訳、解釈をしながら読み進めていきます。和訳は全員に丁寧に予習をしてきてもらいます。同じ箇所を2、3人に披露してもらうので、型どおりではない自分なりの訳ができるように準備して下さい。解釈においても、人物の心理や作者の考えなど、具体的なイメージを掴んでいくことが重要となります。一回の講義で2頁前後進む予定です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

評価方法: 平常点重視。

出席、予習、発言など平常点: 60%

学期末試験: 40%

上記以外の考慮事項:

小テスト・学期末試験の合計点数がクラス平均点以下である時には、総合としてはSの基準点に達している学生であっても、評価はAに下がります。

小テスト・学期末試験の合計点数がクラス最低点である時には、総合としてはBの基準点に達している学生であっても、評価はCに下がります。

テキスト(教科書):

プリント (授業時に配布)

担当教員から履修者へのコメント:

テキストの英文を予習として全員に英訳してきてもらいます。綿密な英文和訳の作業や精読に興味がない学生には不向きな授業と承知してください。

試験結果や成績の詳細については、授業内のメッセージから個別にお知らせします。

質問・相談:

授業 (出講: 火1, 2限、金1, 2限) の前後に、教員室、又は担当教室の廊下にて受け付けます。

又は、下記のメールアドレスまで連絡してください。

m-niina@keio.jp

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

Intermediate Ethical Issues for Discussion

講座番号: 178

セット履修 ピアソン・ウメツ, ナンシー E.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The main objective of this course is to help you improve your English reading and communication skills. We will look at current issues from an ethical point of view: human rights, poverty, and medical ethics, etc. We will begin the year by looking at the different ways we make ethical decisions. Then, for each topic, you will learn relevant vocabulary, read related material, and present case studies. During summer vacation, you will follow a current event topic and present it to the class in the fall. You will also read a book for the fall semester.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Your grade will be based on class attendance, class participation, written homework, tests, and case study presentations. All classes will be conducted in English only.

テキスト(教科書):

There is no textbook for this course. All materials will be handed out in class or made available for download on the keio.jp website. In the fall semester, you will read *Three Cups of Tea*, which will be available at the Hiyoshi Coop in July.

担当教員から履修者へのコメント:

I look forward to teaching students who are motivated and interested in the topics we will be discussing. Students are expected to come to class prepared for class discussions. I also expect you to conduct all discussions in class IN ENGLISH.

質問・相談:

Students can contact the instructor via email or before/after class.

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

Communication Skills, upper intermediate level

講座番号: 179

セット履修 ピアソン・ウメツ, ナンシー E.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The goal of this course is to help you improve practical reading, listening and communication skills. We will explore current issues such as psychology, corporate social responsibility (CSR), advertising, etc. Students will do outside research on each topic, learn related vocabulary, listen to audio interviews, and discuss the issues in small groups. There will be outside reading homework for each topic. An exam will be given after each unit. You will also read one English book in the fall semester. We will complete a unit approximately every 2-3 weeks.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Your grade will be based on attendance, class participation, written homework, and tests.

テキスト(教科書):

Q: Skills for Success 4 Listening and Speaking, 3rd edition (Oxford University Press)

The book *Three Cups of Tea* will be available at the Hiyoshi Coop in July.

All other materials will be available for download at the keio.jp website.

担当教員から履修者へのコメント:

I look forward to teaching students who are motivated and interested in improving their English skills. Students are expected to come to class prepared for class. All class discussions will be IN ENGLISH.

質問・相談:

Students can contact the instructor via email or before/after class.

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

中世アイルランドの「神話」とファンタジー

講座番号: 180

セット履修 辺見 葉子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は、中世アイルランド語で書かれた「起源神話」*Lebor Gabála Érenn*を、現代英語でファンタジー仕立てに再話した作品を読みます。ケルト語神話・伝承についての入門的な性格を持った授業になります。

秋学期には、*Lebor Gabála Érenn*への理解を深めるためアイルランドの神話物語を読み、それらを踏まえて、学問的な論考も読みます。専門課程で必要とされる学術的な文献読解力へとつなげることを目的とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 [予習・授業中の学習状況] (50%)、春・秋期末試験 (50%)

テキスト(教科書):

keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

担当教員から履修者へのコメント:

授業には予習を完全にした上で臨むことが求められます。

質問・相談:

随時受け付けます。

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

J.R.R. Tolkien の *The Lord of the Rings* に関する論考を読む

講座番号: 181

セット履修 辺見 葉子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は、J. R. R. Tolkien の *The Lord of the Rings* と、ピーター・ジャクソン監督による映画化作品に関する論考を読みます。論考の中で議論の対象となっている映画シーンをDVDで確認しながら、必要に応じて原作や映画スクリプト、関連文献なども読みます。

秋学期は、"dwarf", "elf", "fairy", "hobbit"などのキーワードを中心に、Tolkienの言語世界をより広い視野から論じた論考 *The Ring of Words* を読みます。Tolkienの物語世界への理解を深めるとともに、論文の論旨を適確に把握し、専門課程で必要とされる文献読解能力を養成します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 [予習・授業中の学習状況] (50%)、春・秋期末試験 (50%)

テキスト(教科書):

keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

参考書:

文庫 新版『指輪物語』全10巻 J. R. R. トールキン著、瀬田貞二・田中明子訳 評論社

その他、授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

論文の理解に必須ですので、原作*The Lord of the Rings* (翻訳『指輪物語』で構わない)を読み、かつ映画(DVD/BD)を見ておくことを強く奨励します。

また、授業には予習を完全にした上で臨むことが求められます。

質問・相談:

随時受け付けます。

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

Advanced Intermediate Reading Comprehension

講座番号: 182

セット履修

ボーク, ギャリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This is a one-year advanced English reading course designed to help students take their reading comprehension skills to the next level. This course requires students to read English daily as a way to improve their working knowledge of English vocabulary and grammar.

Each class will begin with a short reading practice before reading sections from the novel *Bend it like Beckham* by Narinder Dhami, which looks at several inter-cultural topics, including women's football and intercultural marriage. Following group discussions, students will then write short reviews on each section.

Students are expected to read sections of the selected novel before attending each class.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Final grades will be based on reading tests (15%), course work (40%), class participation (15%), and end-of-semester projects (30%)

テキスト(教科書):

Dhami, N. (2002). *Bend It Like Beckham*. Hodder & Stoughton. ISBN: 978-0340860946

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

Introduction to Psychology

講座番号: 183

セット履修

ヤング, ジェローム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this class is to help students improve their ability to communicate naturally in English. The theme of this class is psychology and the goal is to give students a comprehensive introduction to the subject. Although there is no textbook in this class, students will be given extensive readings, from source material (such as Kendell, Szasz, Freud, Jung, Rogers, Beck, among others), and will be expected to devote time to understanding these historically important texts. In addition to these readings, extensive use of documentary films will help students gain a solid understanding of both the theoretical underpinnings of and the practical side of psychotherapy. In the spring semester, students will learn about the major classes of mental illness and, in the autumn semester, they will learn about influential theories of mental health and therapy.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

There will be continuous evaluation of a student's performance and progress in this class. Final grades will be based on attendance, active class participation, timely completion of all homework assignments, and final reports.

テキスト(教科書):

There is no textbook in this class. The instructor will provide source readings and worksheets, as well as relevant websites, for each lesson.

参考書:

Royal College of Psychiatry (www.repsych.ac.uk)

American Psychiatric Association (www.psychiatryonline.com)

担当教員から履修者へのコメント:

Instructor's Expectations: Regular on-time attendance, preparation of weekly homework assignments, and active participation in class (using English at all times). No previous knowledge of psychology is required in this class. Students can expect feedback on all assignments, classroom activities, and questions they have from the instructor. This course will help students improve their English reading skills, and will provide them with a firm foundation for understanding psychology.

質問・相談:

When students have questions, they can ask me before, during, or after class, or via email.

[上級]

英語 I 上級 1 単位(春学期)

英語 II 上級 1 単位(秋学期)

The Contemporary Foreign Experience in Japan: Successful Intercultural Communication and Acculturation

講座番号: 191

セット履修

コミサロフ, アダム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The goals of this course are to: 1. promote among students an understanding of both the barriers and the successes that foreign people experience as they acculturate deeply in Japanese society; 2. improve students' reading and oral communication skills in the form of presentations and learning the fundamentals of assertive communication; and 3. create strategies and proposals for promoting positive communication between Japanese and non-Japanese people and the inclusion of foreigners in Japanese work organizations, communities, and society.

This course begins by giving students a foundation in basic intercultural communication and acculturation theory – i.e., what are common cultural differences found between people who work and live together, what is acculturation, and how acculturation influences intercultural communication and relationships. Also, students will be expected to read texts critically and thoroughly about the aforementioned topics, and they will be mentored in how to improve their presentation skills about contemporary issues in intercultural communication in Japan. As a demonstration of mastery of the fundamentals of acculturation theory, students will be required to write and present about how to improve intercultural communication between Japanese and non-Japanese people.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Students' grades will be based on (1) participation in class work and attendance, (2) homework completion rates (homework is given weekly), and (3) performance on papers and oral presentations.

テキスト(教科書):

Komisarof, Adam. (2012). *At Home Abroad: The Contemporary Western Experience in Japan*. Reitaku University Press. ISBN: 978-4892056161.

The teacher will also provide extra reading materials at no cost to the students.

参考書:

Editors: Adam Komisarof and Zhu Hua. (2016). *Crossing Boundaries and Weaving Intercultural Work, Life, and Scholarship in Globalizing Universities*. Publisher: Routledge.

The Upside of Stress by Kelly McGonigal.

担当教員から履修者へのコメント:

Students are expected to attend class regularly (no more than three absences are permitted), to participate in all activities, and to complete readings before each lesson that will prepare them for group discussions. Students who can fulfill these expectations are encouraged to enroll for this course.

質問・相談:

Students are encouraged to see me if they have any questions or concerns. We can talk on the day of our class, and if we need to discuss the matter further, we can easily set up an appointment. All students who register will be given my email address in class.

英語 I 上級 1 単位 (春学期)

英語 II 上級 1 単位 (秋学期)

The Benefits and Risks of Globalization: The Narrative of the Transcultural Hero

講座番号: 192
セット履修

コミサロフ, アダム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Globalization is a multi-pronged process with broad impact. For instance, the movement of human resources across national boundaries has resulted in unprecedented levels of worldwide intercultural contact and the transformation of individual lives and cultural identities of those who have chosen to live abroad. Namely, choosing a life abroad promises both great challenges and rewards for those willing to brave such change.

In this course, students will explore the benefits and risks of a transnational life by examining literature, both scholarly and popular, which features narratives of transcultural heroes or tragic figures. Students will learn theories and models related to intercultural communication and acculturation which give them a new lens through which to interpret and appreciate such literature. In the process, students will improve their reading and presentation skills. They will also be required to read various texts and lead a class discussion about one reading which they choose. The instructor will supplement presentations with relevant concepts from the fields of intercultural communication and acculturation psychology.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Students' grades will be based on (1) participation in class work and attendance, (2) homework completion rates (homework is given weekly), and (3) performances on oral presentations.

テキスト(教科書):

Komisarof, Adam. (2012). *At Home Abroad: The Contemporary Western Experience in Japan*. Reitaku University Press. ISBN: 978-4892056161.

The teacher will also provide extra reading materials at no cost to the students.

参考書:

Editors: Adam Komisarof and Zhu Hua. (2016). *Crossing Boundaries and Weaving Intercultural Work, Life, and Scholarship in Globalizing Universities*. Routledge.

J. K. Rowling. *Harry Potter and the Philosopher's Stone*.

Mircea Eliade. *Two Strange Tales*.

Yoshiko Uchida. *Desert Exile: The Uprooting of a Japanese-American Family*.

C.S. Lewis. *The Lion, the Witch, and the Wardrobe*.

担当教員から履修者へのコメント:

Students are expected to attend class regularly (no more than three absences are permitted), to participate in all activities, and to complete readings before each lesson that will prepare them for group discussions. Students who can fulfill these expectations are encouraged to enroll for this course.

質問・相談:

Students are encouraged to see me if they have any questions or concerns. We can talk on the day of our class, and if we need to discuss the matter further, we can easily set up an appointment. All students who register will be given my email address in class.

英語 I 上級 1 単位 (春学期)

英語 II 上級 1 単位 (秋学期)

Agatha Christie's Detective Stories

講座番号: 193
セット履修

タイ, ワンチェン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Spring semester: The course uses detective fiction by Agatha Christie - both written texts and their visual and audio adaptations - to help students interact in English on multiple levels. In the spring semester, the class is going to read her detective drama, *The Mousetrap*. The focuses in the

spring semester include understanding the drama, putting on a performance of (part of) the drama as a final presentation, and learning about the background to the story. In this course, students' individual assignments involve submission of vocabulary lists, vocabulary quizzes, small presentations and weekly reading assignments. Group homework will be the performance of a chosen scene (15 minutes; or about 5-7 pages) of the drama.

Autumn semester: The reading material for the autumn semester is Agatha Christie's novel, *Curtain*. We are going to do the following activities in the class: reading the novel, watching its TV adaptation, vocabulary lists, vocabulary quizzes, and an audio presentation. There is a reading assignment every week. Students need to download a handout from keio.jp to answer questions regarding expression and comprehension. Students will continue to be responsible for making vocabulary lists for the class. For the final audio presentation in this semester, students will be divided into groups to compose a dramatic dialogue for a criminal case (mentioned in the novel), record it, and present it to the class.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Spring Semester

Participation and Attendance 20%

Final Presentation 40%

Vocabulary Quiz 30%

Vocabulary List 10%

Autumn Semester

Participation and Attendance 20%

Final Audio Presentation 40%

Vocabulary Quiz: 30%

Vocab List: 10%

テキスト(教科書):

Photocopies of the drama will be provided at the beginning of each term. The script of the drama (PDF) is available on keio.jp.

Students will have to either get a hardcopy of *Curtain* in the bookstore on Hiyoshi campus at the beginning of the semester or read a digital version of the book (PDF file will be provided).

担当教員から履修者へのコメント:

Other requirements:

1. Students who miss 3 classes in a semester will fail the course.
2. Students who arrive 10 minutes after a class begins will be considered late.
3. Arrival later than 30 minutes after a class begins is treated as an absence.
4. Using any electronic gadgets except a dictionary is forbidden, but you may use a LAPTOP to read the texts.
5. For absences due to medical reasons, student needs to contact the instructor through email and supply medical documentation later.

質問・相談:

Students may contact the instructor at wanchentai@a5.keio.jp.

英語 I 上級 1 単位 (春学期)

英語 II 上級 1 単位 (秋学期)

Readings in American Gothic Fiction

講座番号: 194
セット履修

バナード, ピーター

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this class, we will explore the landscape of weird, fantastic, and horror fiction in America from the early 1800s to the present day. Reading a selection of short stories showcasing a wide diversity in terms of historical context, authorial background, and thematic approach, students in this course will gain a general survey understanding of the literary history of American Gothic fiction.

At the same time, this course will strive to move beyond literary history toward deeper thematic concerns. This class will be conducted in a seminar style, and class time will be devoted to considering the following

sorts of questions: What does "American" mean in these stories of horror and the supernatural? What does "Gothic" mean in the context of America, as opposed to the British Isles or even Japan? In other words, what makes "America," in particular, scary? Using the texts as our starting point, we will discuss these issues and more during our class meetings, and students will be asked to complete a series of written exercises engaging with such themes throughout the course.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Grades will be calculated as follows:

30% Regular attendance and active participation in class discussion

30% Writing assignments

40% In-class quizzes and exams

テキスト(教科書):

Stories will be drawn from: Straub, Peter, ed. (2009). *American Fantastic Tales: Terror and the Uncanny from Poe to Now*. The Library of America.

Please note that all readings will be distributed in class beforehand. Students are not required to purchase the entire anthology.

参考書:

Students are required to have access to a good English dictionary.

担当教員から履修者へのコメント:

This course will be conducted entirely in English.

Students will be expected to prepare the readings before each class and to participate actively in each class session in order to receive a passing grade.

質問・相談:

Students can contact me via email (address to be distributed on the first day of class); students are also free to speak to me before or after class with any questions or concerns.

英語 I 上級 1 単位(春学期)

英語 II 上級 1 単位(秋学期)

Advanced Ethical Issues for Discussion

講座番号: 195

セット履修

ピアソン・ウメツ, ナンシー E.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The main objective of this course is to help you improve your already advanced English reading and communication skills. We will examine current ethical issues in human rights and medicine. You will be expected to research and present ethics case studies each semester, and to prepare outside readings for each topic that we discuss. You will also be required to read three books in English during the year and write book summaries.

Your grade will be based on class attendance, class participation, written homework, book reports, case study presentations, and tests. All classes will be conducted in English only.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Your grade will be based on class attendance, class participation, written homework, book reports, case study presentations, and tests. All classes will be conducted in English only.

テキスト(教科書):

There is no textbook for this course. All materials will be handed out in class or made available for download on the keio.jp website. You will need to choose three books in English to read during the year.

担当教員から履修者へのコメント:

I look forward to teaching students who are motivated and interested in the topics we will be discussing. Students are expected to come to class prepared for class discussions.

質問・相談:

Students can contact the instructor via email or before/after class.

英語 I 上級 1 単位(春学期)

英語 II 上級 1 単位(秋学期)

Advanced Reading Comprehension

講座番号: 196

セット履修

ボーク, ギャリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This is a one-year advanced English reading course designed to help students take their reading comprehension skills to the next level. This course requires students to read English daily as a way to improve their working knowledge of vocabulary and grammar.

Each class will begin with a short reading practice before reading a selection of articles taken from the book *The Art of Thinking Clearly* by Rolf Dobelli. Following a short group discussion, students will then write short reviews utilizing target vocabulary.

Students are also expected to complete a weekly online reading component.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Final grades will be calculated on: Readings (10%), Course work (30%), Online reading homework (15%), Project (25%), and Final task (20%)

テキスト(教科書):

Dobelli, Rolf. (2013). *The Art of Thinking Clearly*. Harper International. ISBN: 978-0-06-234396-3

担当教員から履修者へのコメント:

Students are expected to attend each class with writing materials and a good Japanese-English/English-Japanese dictionary and have access to online materials.

【最上級】

英語 I 最上級 1 単位(春学期)

英語 II 最上級 1 単位(秋学期)

Close Reading of Literary Works

講座番号: 201

セット履修

タイ, ワンチェン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course seeks to develop students' ability to do close-reading of literary texts, to understand and interpret narratives, and to discuss relevant issues. Students are responsible for previewing assignments to achieve higher productivity of discussion in class. Participation in class activities is indispensable throughout the year.

In the spring semester, the class will read a collection of essays assembled by the instructor (see titles below). Every student is responsible for making a presentation on an essay that s/he chooses.

In the spring semester, students have to write three 500-word critical responses, each of which has to consist of one paragraph answering one of the discussion questions appended to an essay.

In the autumn semester, students are to read Mary Shelley's *Frankenstein; or, The Modern Prometheus* (first published in 1818). Considered as an early example of science fiction, *Frankenstein* is about the ways in which Victor Frankenstein as a student of science pursues his desires and ambition for scientific advancement to transgress the ethical and epistemological boundaries of scientific knowledge of his time, but all of this eventually contributes to his life-long suffering. Written and published around the beginning of the Industrial Revolution, when science began to transform everything in the world at an overwhelming speed, the novel embodies Shelley's concerns and thoughts about a long-standing disagreement between people who embrace science as a means of bettering human life, and those who are suspicious of it. In this semester, we are going to read the novel and discuss the questions that the author raises, such as, What has gone wrong in the novel? What is essential to make one a human or a monster? Should there be a limit on humanity's wishes to develop technology?

In addition to reading the novel, some of its film adaptations will be used as a comparison to understand how the messages of the story have been interpreted and appropriated over time.

Students will be responsible for the following tasks:

1. Reading: previewing assigned reading load before every class; preparing to participate in discussing questions, which will be provided prior to each class.
2. Writing: two critical responses (each of 500-words), which answer two class discussion questions, have to be submitted.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Spring Semester

Attendance 10%

Participation 20%

Presentation 30%

Critical Responses 40%

Autumn Semester

Attendance 10%

Participation 20%

Discussion Questions (respondent) 30%

Critical Responses 40%

テキスト(教科書):

Spring Semester

A reading pack will be distributed by the instructor at the beginning of the semester.

Autumn Semester

Shelley, Mary. *Frankenstein; or, The Modern Prometheus*. Maurice Hindle, ed. Penguin Classics. 2003.

A PDF file of the 1831 edition of the novel is available from Internet archives.

担当教員から履修者へのコメント:

1. Using mobile phones and other electronic gadgets is strictly forbidden in class.
2. A student who misses 3 classes in a semester will fail the course.
3. A student who arrives 15 minutes after a class begins is considered late. Arrival later than 30 minutes after the class starts is treated as an absence.
4. For absence due to medical reasons, please inform the instructor through email and supply medical documentation later.

質問・相談:

Students may contact the instructor at wanchentai@a5.keio.jp.

必修としない英語

(希望者のみ総合教育科目(系列外)として履修)

「英語インテンシブ I A / 英語インテンシブ II A,
英語インテンシブ I B / 英語インテンシブ II B」 (各1単位)

必修の英語だけではなく、英語をさらに学びたい人のための科目です。コミュニケーション能力の向上に特化したクラスもあります。ぜひ活用してください。

【セット科目】は、春・秋学期を通して履修してください。なお、初回でクラスのサイズ調整のために受講生の選考が行われる場合があります。

英語インテンシブ I A 1 単位(春学期)

英語インテンシブ II A 1 単位(秋学期)

Communicating Across Cultures: Japan and the World

セット履修

コミサロフ, アダム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Students will improve their skills and confidence in speaking, listening, and presentation skills that are necessary in today's global world. They will improve their ability to navigate communication in a variety of

contexts, including work, daily survival while studying or traveling abroad, and other types of intercultural contact. They will also build a foundation for understanding and applying basic principles in the field of intercultural communication to improve their communicative competence, especially with foreign people.

Students will have opportunities to develop their communication skills by participating in a variety of interactive activities with the instructor and each other. All students will be expected to attend regularly, complete homework, and participate in all classroom tasks, especially speeches in front of the class, as well as role plays, pair work, and group discussions with classmates.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Students' grades will be based on (1) participation in class work and attendance, (2) homework completion rates (homework is given weekly), and (3) performance on tests and oral presentations.

テキスト(教科書):

八代京子他著(2001)。『異文化コミュニケーションワークブック』。三修社。ISBN: 978-4384018516.

The teacher will also provide extra printed materials at no cost to the students.

担当教員から履修者へのコメント:

Students are expected to attend class regularly (no more than three absences are permitted), to participate in all activities, and to complete all of their homework before each lesson. Students who can fulfill these expectations are encouraged to enroll for this course.

質問・相談:

Students are encouraged to see me if they have any questions or concerns. We can talk on the day of our class, and if we need to discuss the matter further, we can easily set up an appointment. All students who register will be given my email address in class.

英語インテンシブ I A 1 単位(春学期)

英語インテンシブ II A 1 単位(秋学期)

Photography Studies

セット履修

ヤング, ジェローム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this class is to help students improve their ability to communicate naturally in English. As this is an intensive English class, students can expect to be speaking English extensively in class each week. The theme of this class is, broadly speaking, photography and the goal is to examine the subject comprehensively. Students will learn about the history of photography and will research about its aesthetic, moral, and psychological influence on modern society. All societies we call "modern" have to be understood in terms of interchanges between reality and the image, and the most successful and influential system of images in all history is that provided by the camera. Classroom discussions and homework assignments (taking photographs) will focus on helping students develop a deeper understanding about the relation of photography to art, to conscience, to self, and to knowledge. One photographic theme will be covered each week and classroom discussions will revolve around students' work. Active and enthusiastic participation and regular attendance in this class are essential, and are guaranteed to help students become better speakers of English.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

There will be continuous evaluation of a student's performance and progress in this class. Final grades will be based on attendance, active class participation, and timely completion of all homework assignments.

テキスト(教科書):

While the instructor will provide readings and worksheets, as well as relevant websites, for each lesson, students will be expected to bring in research material (photographs) each week.

担当教員から履修者へのコメント:

Instructor's Expectations: Regular on-time attendance, preparation of weekly homework assignments, and active participation in class (using English at all times). Students can expect feedback on all assignments, classroom activities, and questions they have. The main goal of this

course is to help students improve their English speaking ability and, with their individual commitment, they can fully expect to be better English speakers by the end of the course.

質問・相談:

When students have questions, they can ask me before, during, or after class, or via email.

英語インテンシブ I B 1 単位 (春学期)

英語インテンシブ II B 1 単位 (秋学期)

Current speaking topics in English

セット履修

ノブオカ, メアリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this course is to develop students' speaking and listening skills as well as other communication skills and strategies needed in various situations. Vocabulary building is an important component of this course. Review and vocabulary quizzes will be given. Students will also practice reading and writing. Some pronunciation exercises will be done. Students will deliver one presentation each term.

The class will be conducted in a cooperative-learning style in which students work together in small groups for discussion and problem-solving. Real-life listening exercises will give students an opportunity to improve their listening skills. Students will use English to practice various speaking and conversation skills. Students will gain confidence speaking in front of small groups and giving presentations.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Students will be evaluated on the following criteria: attendance/in-class participation (50%); one presentation (30%); writing assignments (10%); and frequent quizzes focusing on key vocabulary and concepts introduced in the previous class (10%). Class attendance is very important. Being late 3x is equivalent to one absence; three absences will result in a reduction of one letter grade. Six absences will result in a failing grade.

テキスト(教科書):

There is no textbook for this course. The teacher will provide students with worksheets and handouts for reading.

担当教員から履修者へのコメント:

Students are expected to prepare for class by doing the reading and vocabulary homework. They should bring note-taking materials, a dictionary, and one set of vocabulary cards to each class session. Students who attend class and are eager to speak English will do well in this course.

質問・相談:

I will be available for students before and after class for questions and consultation or by appointment arranged by email.

英語インテンシブ I B 1 単位 (春学期)

英語インテンシブ II B 1 単位 (秋学期)

Pessimism and Horror in the 21st Century

セット履修

バナード, ピーター

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course will explore the question of whether philosophical pessimism is a valid ethical outlook in the world today. We live in an era marked by fears, anxieties, and other negative emotions of various kinds, in reaction to a far-reaching web of political, social, and ecological concerns. How should we feel and act in such seemingly apocalyptic times?

We will consider one possible way to answer this question through a focused reading and discussion of Thomas Ligotti's pessimist polemic, "The Conspiracy against the Human Race." Ligotti's text is meant to be provocative, which means that the focus of this course will be placed not on the text itself but instead on students' responses to it. Do you agree with the radical pessimism that Ligotti presents to his readers? Can you come up with a philosophical alternative? Through a series of presentations and writing assignments, students will use Ligotti as a starting point for building their own "philosophical roadmap" for living ethically in the 21st century.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Grades will be calculated as follows:

40% Regular attendance and active participation in class discussion

20% Writing assignments

20% Mid-term presentation

20% Final presentation

テキスト(教科書):

Ligotti, Thomas. (2018). *The Conspiracy against the Human Race: A Contrivance of Horror*. Penguin Books.

参考書:

Hood, Michael. (2016). *Dynamic Presentations*. Kinseido.

担当教員から履修者へのコメント:

This course will be conducted entirely in English.

Students will be expected to prepare the readings before each class and to participate actively in each class session in order to receive a passing grade.

質問・相談:

Students can contact me via email (address to be distributed on the first day of class); students are also free to speak to me before or after class with any questions or concerns.

ドイツ語

文学部でドイツ語を履修する学生は、週3回（うち、1回はドイツ人）の授業を受けることになります。文法、訳読、作文、会話を通じて、発音から接続法までドイツ語の基礎はひととおり終了することになります。ひととおりとはいっても、ここで得た知識を活用することに慣れれば、2年次以降、小説を読むにしても、独作文をするにしてもそれほど苦勞はしないはずです。すでに高等学校その他でドイツ語を勉強してきた学生のためには、中級、上級のクラスが設置されています。最近よく「使える外国語」という言葉を耳にいたします。なにをもって「使える」というのか議論の分かれるところですが、従来行われてきた訳読中心の授業に対する批判がこめられていると考えてよいでしょう。つまり発信型の外国語が求められているのです。そうした要望に答えるため、文学部では、必修科目としてのドイツ人の授業の他、誰でもが自由に履修できるドイツ語会話の授業が2コマ設置されています。しかし発信のためだけの外国語であっても困るのです。大学での外国語は、まず文学や哲学、あるいは歴史を研究する際の手段であることが求められています。私たちとしてはドイツ語に限らず、外国語を通じて皆さんに豊かな教養を積んでいただきたいと思うのです。「教養」を口にするのは相当に照れくさい。フンボルトやゲーテの名前をもち出して人格形成を訴えることに恥じらいを覚えます。しかし、それなくして何のための大学かと思えます。ドイツではすでに19世紀半ば、ブンゼンやラウマー等が高等学校での詰め込み式授業の弊害を訴えておりました。ゲーテもまたエッカーマンとの対話のなかで、早期の高度な専門教育が若者から人間形成のエネルギーを奪っている点を指摘しています。受験競争のため、皆さんにはこれまで小説など受験科目以外の読書に費やす時間の余裕はなかったことでしょう。それをいま、感受性の強い学生時代に果たしていただきたいと思うのです。「教養」という言葉も曖昧な使われ方をしていますが、ひとつ言えることは、物知りであることよりも正しい判断の下せることが大切でしょう。これに文学や哲学の知識をベースとして美術や音楽の鑑賞力が加われば申し分ありません。そのためには、日本語に頼るだけでは足りません。外国語による幅広い教養が求められていると思うのです。私たち教員サイドも様々な創意工夫を重ねる必要があります。同時に、皆さんの積極的な授業への参加が期待されます。

参考書：平尾・中島他著『初心者のためのトレーニング・ドイツ語』（白水社）

和山謙三郎著『独検4級・3級ドイツ語入門』（朝日出版）

独和辞典：アポロン独和（同学社）、クラウン独和（三省堂）

新アルファ独和（三修社）、マイスター独和（大修館）

ドイツ語Ⅰ／ドイツ語Ⅱ

ドイツ語Ⅰ 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅱ 1単位(秋学期)

初級ドイツ語

糸川 麻里生
アインス, ヴィーラント
大淵 知直
奥山 美德
川島 建太郎
斎藤 太郎
佐藤 - プリンツ, マヌエラ
シュミット, ウーテ
滝藤 早苗
田中 愼
津崎 正行
平田 栄一郎
ブッヘンベルゲル, ステファン
ベッカー, アンドレアス

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語の基礎的な文法知識、初歩的な語彙、初歩的な表現を習得する。ドイツ語は比較的的文法構造が明確な言語であるため、初歩の段階をしっかりと学習すれば、2年目以降では飛躍的な向上も期待できるし、高度な内容のテキストを読解できるようにもなれる。そのための基礎づくりをする授業である。週3回の授業のうち、2回は文法中心の授業、1回は会話練習の授業となる。大学入学までですでにある程度ドイツ語の知識がある学生は、「中級クラス」「上級クラス」で学ぶことも可能。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点と授業内試験で評価する。

テキスト(教科書):

クラスによって異なるため、クラス別ガイダンスと教科書販売所において告知する。

参考書:

必要に応じて教室で指示する。

担当教員から履修者へのコメント:

外国語習得は、ある事柄の理解や、知識の単純な習得ではなく、技能(スキル)です。くりかえし「練習」し、「使える」レベルを目指してください。

質問・相談:

原則として、授業の前後。申し込みにより随時。

ドイツ語Ⅰ中級／ドイツ語Ⅱ中級

ドイツ語Ⅰ中級 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

Aktiv Deutsch lernen

セット履修

クリーク, ブリギッテ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In diesem Kurs koennen Sie Ihre Deutsch-Kenntnisse anwenden und weiter vertiefen. Sie haben viele Moeglichkeiten, Deutsch zu sprechen und zu ueben. Hoeruebungen (mit CD/DVD) und Paar- bzw. Gruppeneubungen gibt es in jedem Unterricht.

Sie brauchen jedesmal Ihr Woerterbuch. Aktive Mitarbeit ist notwendig.

Unterrichtssprache ist ueberwiegend einfaches Deutsch.

Wir benutzen ein deutsches Lehrbuch "Menschen A1,2."

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Prüfungen und mündliche Mitarbeit

テキスト(教科書):

S.Evans, A.Pude,F.Specht.(2012).Menschen Kursbuch A1,2 Hueber ISBN 978-3-19-501901-9

参考書:

中島、平尾、朝倉(1985)必携ドイツ文法総まとめ、白水社、ISBN4-560-00433-1

担当教員から履修者へのコメント:

Aktive Mitarbeit und regelmaessiges Lernen ist notwendig.

ドイツ語Ⅰ中級 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

セット履修

栗田 くり菜

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

みなさんはドイツ語圏の文学作品を読んだことはありますか?どの作品が好きでしょうか?

この授業では、ドイツ語圏の有名な作家のテキスト(抜粋)を読むことにチャレンジします。グリム兄弟のテキスト、ヨハンナ・シュビリ、フランツ・カフカ、ヴォルフガング・フォン・ゲーテ、ベルンハルト・シュリンクなど、時代やジャンルを問わずに様々なテキストを紹介する予定です。それぞれのテキストは抜粋形式なので、その作品を読んだことがない方でも問題なく理解できる内容になっています。

ドイツ語である程度まとまった文章を読む練習をしたい方、ドイツ語の美しい表現や単語を身につけたい方、ドイツ語の音に慣れたい方、ドイツの文学を一度読んでみたい方、ぜひ履修してください。

授業は、テキストを読む→内容について話し合う→重要な表現や文法の確認、という流れで進める予定です。またテキストを音読して、ドイツ語の発音の練習も行いたいと思います。取り上げる文学作品や作家についても理解を深めることができるよう、映像や補足プリントなどを使って説明をする予定です。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

毎回の授業における発言、リアクションシート、発表学習などを総合的に勘案します。

テキスト(教科書):

『Lesebuch Deutsch - Neue, verbesserte Auflage』相原剣 朝日出版社

2019年 ISBN978-4-255-25417-3

参考書:

独和辞典(特に指定はしませんが、必ず購入してください)

担当教員から履修者へのコメント:

楽しく進めたいと思いますが、そのためには皆さんの予習が必要不可欠です。グループワークや発表学習なども予定しています。積極的な授業参加を期待します。また、毎回必ず辞書を持ってきてください。

質問・相談:

毎回の授業前後、及びメールで。お気軽に質問ください。

ドイツ語Ⅰ中級 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

ドイツ語Ⅰ/Ⅱ中級(B)

セット履修

山田 史子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、一通り基礎文法を学習した学生を対象にしています。春秋学期共に、発音練習(単語、テキストの文章)、テキストの読解、聞き取り練習、文法事項の学習という4つのステップを1サイクルとして進めていきます。まとまった分量のテキストを読んで理解するだけでなく、聞いて理解できるようになることを目指します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

各学期とも、授業内の課題達成度およびテストにより総合的に判断します。正当な理由のない欠席が全体の3割を超えた場合は、成績評価の対象外とします。

テキスト(教科書):

kennzeichen.de Faust und Mephisto; Ute Schmidt, Mechthild Duppel-Takayama, Yuko Mitsuishi, Masato Izumi; 三修社; ISBN978-4-384-13095-9 C1084

ドイツ語Ⅰ上級/ドイツ語Ⅱ上級

ドイツ語Ⅰ上級 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅱ上級 1単位(秋学期)

ドイツ映画を「読む」ードイツ語聴解力&読解力トレーニング
セット履修 津崎 正行

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、ドイツ映画を何本か取り上げ、その作品と関連するさまざまな種類のテキスト(作品に対する評論や解説、監督や俳優に対するインタビュー、作品中で言及された著作、原作や脚本など)を精読します。それによって、ドイツ語の文章を正確に読む力を養うとともに、ドイツ語で話したり書いたりする際に必要となる表現や語彙も身につけることを目指します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(60%)とレポート(40%)によって、総合的に評価します。なお、平常点とは、いわゆる「出席点」を意味するものではなく、毎回の授業での発言などに対して与えられた点数を合計したものをいいます。

テキスト(教科書):

必要に応じて、プリントを配布します。

参考書:

必要に応じて、授業中に紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業の計画については、受講者の希望や関心、これまでの学習状況なども考慮して、変更する可能性があります。上記の作品のすべてを取り上げることにこだわる必要はありませんし、場合によっては、それ以外の作品を選んでかまいません。希望や提案があれば、いつでも歓迎します。

質問・相談:

かならず自力で解決する努力をしたうえで、それでもなお解決することができなかった疑問点については、授業の前後でも、メールでもかまいませんので、ご都合のよい方法で質問してください。

ドイツ語Ⅰ上級 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅱ上級 1単位(秋学期)

Deutsch für Fortgeschrittene

セット履修

ブッヘンベルゲル, ステファン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語の実践的な運用能力、異文化コミュニケーション能力、国際社会に通用する専門的知識と幅広い教養、協調的な態度を総合的に修得することができること。ドイツ語の基本的な表現を復習しながら、会話表現をさらに深めることを学習目的とする。ドイツ文化の知識を育てて異文化の意識を深める。昨年勉強したドイツ語から、語彙力を拡大する練習を行いつつ、ビデオ教材なども取り入れながら、自由会話を中心にドイツ語の勉強を進める。目的:自分のことについて会話できる。

概ね欧州言語共通枠組A2の水準を目安とし、ドイツ語技能検定試験3級やStart Deutsch 2等の受験のための指導を併せ行う。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春学期:確認のテストと試験を行う。割合は、試験50%、平常点(レポート、連携)50%程度とする。講義を4回以上欠席した者は評価の対象としない。

秋学期:プレゼンテーションを行う。割合は、プレゼンテーション70%、平常点(レポート、連携)30%程度とする。講義を4回以上欠席した者は評価の対象としない。

参考書:

後で決定する

ドイツ語 I 上級 1 単位(春学期)**ドイツ語 II 上級 1 単位(秋学期)**

セット履修

ブリール, リタ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Dieser Kurs richtet sich an Studentinnen und Studenten, die aufgrund laengerer Aufenthalte in einem deutschsprachigen Land und/oder nach mehrjaehrigen Deutschunterricht in der Schule ueber gute Deutschkenntnisse verfuegen. Unterrichtssprache ist Deutsch, kann aber je nach dem Niveau der Teilnehmer auch teilweise zweisprachig durchgefuehrt werden, um zu gewaehrleisten, dass der Unterrichtsinhalt auch verstanden wird.

Nach Absprache mit den Studenten werden Texte zu verschiedenen Themenbereichen der deutschen Kultur und Geschichte und/oder literarische Texte ausgewaehlt. Diese Texte werden gelesen und sowohl muedlich als auch schriftlich eroert.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Regelmaessige und aktive Teilnahme am Unterricht sowie schriftliche Arbeiten waehrend des Unterrichts und teilweise als Hausaufgabe dienen als Beurteilungsgrundlage.

テキスト(教科書):

Wird im ersten Kurs bekanntgegeben.

担当教員から履修者へのコメント:

Bitte kommen Sie regelmaessig zum Unterricht und nehmen Sie aktiv daran teil. Eigene Vorschlaege sind willkommen. Ich freue mich auf gute Zusammenarbeit mit Ihnen.

質問・相談:

Aenderungen der Unterrichtsabfolgen und -inhalte sind moeglich.

Bringen Sie eigene Vorschlaege und Ideen mit! Auf gute Zusammenarbeit!

ドイツ語会話初級 I 1 単位(春学期)

アインス, ヴィーラント

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ドイツ語初心者のためのコースです。簡単な日常の状況で会話ができる簡単なドイツ語の文型、語彙について学びます。英語と似ていることから英語の文法、語彙の知識を用います。毎回の授業で、正しい発音を身に着けます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への積極的な参加度、口頭試験によって評価

テキスト(教科書):

授業内に資料を配布。授業中の補助として文法の本や辞書を持参することを勧めます。

担当教員から履修者へのコメント:

このコースは(ほとんど)ドイツ語のみでの授業です。文法の構造は例文によって示されます(語彙は通常イラストやビデオからの一場面などで提示)。日本語、英語はほとんど使われませんが、英語の知識は非常に役に立ちます。

質問・相談:

質問は通常メールで受け付けます。メールアドレスは授業内でお知らせします。

ドイツ語会話初級 II 1 単位(秋学期)

アインス, ヴィーラント

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は春学期のドイツ語会話初級 I に続くコースです。基本的なドイツ語の文型で会話することを目標とします。簡単な文型、語彙を用い、会話をよりスムーズに進めることを目標としています。このコースは発音も重点においています。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加の積極性と口頭試験(グループ)によって評価

テキスト(教科書):

授業内にて資料を配布。授業の補助として、ドイツ語文法の本、ドイツ語の辞書持参をお勧めします。

担当教員から履修者へのコメント:

この授業はドイツ語で行われます。文法の構造は例文によって示されます(語彙は通常イラストなどで提示)。日本語、英語はほとんど

使われません。授業内容は予告と異なることがあります。提案があれば喜んで受け付けます。

質問・相談:

質問は通常メールで受け付けます。メールアドレスは授業内でお知らせします。

フランス語

なぜ英語以外の外国語を学ぶのか

観光旅行からビジネスや学術交流まで、英語が世界の共通語になっているのは紛れもない事実です。それゆえ外国語は英語だけで十分である、と思われるかもしれませんが。

それでも大学であえて英語以外の外国語を学ぶ、ということにどのような意義があるのでしょうか。少なくとも3つの理由をあげることができます。

まず、実用的な理由があります。「英語は世界の共通語」という言い方は厳密には正しくありません。世界には英語が通じない国と地域がたくさんあります。概ね英語が通じる国や地域であっても、英語を話さない人も存在します。そのような土地に何らかの理由で赴くことになった場合、意思疎通のために現地の言葉、たとえばフランス語の運用が必要になるのは当然のことです。

次に教育的理由があげられます。一つの言語を学ぶことは、一つの世界観、価値観、世界認識の方法、文化を学ぶことです。日本の価値観や文化が世界で唯一のものではありません。英語による世界認識が普遍的なものでもありません。文学部の教育理念の根幹には、価値観や文化の多様性を尊重するという考え方があります。それを実践する最も重要な手段が外国語なのです。

第三に学問的理由があります。文学部では2年次以降、特定の専攻に所属して専門科目を履修します。その際に、世界各国の多種多様な文献資料に直接的に触れるためには当該言語の習得が必須となります。日本語や英語に翻訳されているものもあるかもしれませんが、翻訳を通じた理解に限界があることは言うまでもありません。

なぜフランス語を学ぶのか

「コミュニケーション」の観点から言うと、フランス語は世界における主要な言語の一つです。フランスという国を離れても、フランス語を公的な言語とする国や地域すなわち「フランス語圏」は世界的な広がりを示しています。また、フランス語を公用語とする国際機関は国際連合を筆頭に、万国郵便連合、世界貿易機関、国際労働機関、国際司法裁判所、赤十字国際委員会、国際オリンピック委員会、国際サッカー連盟など、多数あります。

学問的な面では、フランス語で書き残された文化遺産は膨大で、特に文学や哲学、歴史学、美術史などのいわゆる人文学の分野での蓄積には圧倒されます。フランス語を習得し、そのような果てしなく魅力的な世界をぜひ冒険してみてください。

文学部のフランス語の特徴

文学部1年次のフランス語の授業は、「話す」「聞く」「読む」「書く」という4つの能力を総合的に高めるように構想されています。「聞く」ことについては、身近な領域（自分や家族、大学生活、買い物、娯楽、趣味、旅行など）でよく用いられる文や表現を理解できることを目指します。「話す」ことと「書く」ことでは、そのような領域の事柄を簡単な表現で説明できるようになりましょう。そして「読む」こと目標は、高度な内容をもった様々な種類の長い文章を正確に理解できるレベルです。「読む」こと目標を相対的に高く設定している点が文学部のフランス語の特徴ですが、これは履修者が将来的に専攻に所属し、学問上の専門的な文献を読みこなす可能性を見越してのことです。

フランス語学習のコツ

外国語の学習は知的な活動であると同時に、あるいはそれ以上に、身体的な実践です。上達のコツは、スポーツや音楽と同じように、基本的な動作を繰り返すことです。教科書に添付されているCDを聞く、文章を声に出して読む、単語の綴りを書く、という作業を何度も繰り返してください。辞書も、電子辞書よりも紙の辞書を引く方が、大きな身体的動作を伴うため記憶の定着が高まると言われています。

また、このような練習を授業中はもちろんのこと、自宅で繰り返し行うことが大切です。テニススクールに通っている人が、スクールの限られた時間だけ練習していたのでは実力は伸びません。ピアノのレッスンを受けている人が、レッスンの間だけしかピアノに触れないとすると、上達は望めないでしょう。フランス語の授業は、90分の授業が週3回、年間で30週ですので、最大でも合計135時間しかありません。たった135時間でできることは限られています。ぜひとも授業以外の時間も有効に利用してください。

フランス語Ⅰ／フランス語Ⅱ

フランス語Ⅰ 1単位(春学期)

フランス語Ⅱ 1単位(秋学期)

フランス語「初級」

井上 櫻子
芦野 文武
伊東 イザベル
大嵐 健太郎
佐藤 太郎
設楽 聡子
シュドル, フローレンス容子
関 幸太郎
ソヴグラン・シルヴァン
竹中 公二
築山 和也
西野 絢子
西部 由里子
西脇 沙織
能登 省二
ベルナル・ミルティル, ロランス
前島 アンヌ・マリー
真部 清孝
岑村 傑
森 千夏

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語の初習者向けの授業です。読む、書く、聞く、話すのいわゆる4技能を総合的に身につけることが目標です。

「フランス語Ⅰ」は春学期の授業、「フランス語Ⅱ」は秋学期の授業にあたります。それぞれ週3回ずつ行われます(曜日・時間はクラスによって異なりますので、時間割で確認してください)。3つの授業は時間割の上では(A)(B)(C)の記号で区別されます。この3つを「初級」のコースとして履修します。

日本人教員の担当する(A)(B)は初級文法の習得を目的とした授業です。教科書『ル・フランセ』を通年で使用しますが、ある程度学習が進んできた時点で、プリントを用いて作文や購読の授業も織り交ぜていきます。

フランス語を母語とする教員の担当する(C)は教科書『エクト!』を用いて、聞き取り能力や会話力の向上を目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

「フランス語Ⅰ」と「フランス語Ⅱ」は「セット履修」の科目です。成績評価は年度末に1年間の学習成果全体に対して行われます。「フランス語Ⅰ」が終了した時点で春学期の成績が判定されることはありませんし、通知されることもありません。

成績評価の材料は以下の通りです。

・平常点: 各授業の出席状況と受講態度。それに加えて(C)の授業では、各学期に1回ディクテ、オーラルの試験を実施し、平常点に換算します。

・小テスト: 20分程度の小テストを各学期3回、ほぼ1ヶ月に1回のペースで授業中に実施します。各テストは原則として20点満点。10月初めに実施予定の第4回小テストのみ40点満点。

・期末試験: 各学期の定期試験期間中に全クラス一斉で実施します。春学期50点満点、秋学期100点満点。

(注) 小テストも期末試験も、対象とするのは(A)(B)(C)の3つの授業の内容です。

成績は、全クラス共通の客観的かつ公平な基準を設定し、全ての教員が協議して判定します。年度末に送付される成績表では以下の3つの標語が記載されます。

- ・(A)(B)(C)の授業の平常点(口頭試験の結果も含む)による成績。
- ・小テストの合計点(140点満点)による成績。
- ・期末試験の合計点(150点満点)による成績。

(注1) 平常点、小テスト、期末試験は相互に独立した評価方法です。したがって、例えば小テストの成績を平常点で補ったり、期末試験の成績を小テストの成績で補ったりすることはできません。

(注2) フランス語の成績評価システムでは、履修者が進級に必要な単位の一部だけを意図的に放棄することができないようになっていきます。例えば、履修者が小テストを放棄したとみなされる場合、小テストによる成績はもちろんのこと、平常点による成績も減点されます。その結果、進級に必要な単位を満たすことができなくなる可能性があります。

テキスト(教科書):

(A)(B): 齊藤昌三『(新版) ル・フランセ』、白水社、2018年 ISBN978-4-560-06052-0 C3085

(C): 井上櫻子、クロエ・ヴィアート、ヴァンサン・ブランクール、中川真知子『エクト! 聞いて覚えるフランス語』、朝日出版社、2020年 ISBN978-4-255-35304-3 C1085

参考書:

[文法参考書]

森本英夫、三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』(駿河台出版社)

森本英夫、三野博司『ブチット・リュミエール フランス文法参考書』(駿河台出版社)

目黒士門『現代フランス広文典』(白水社)

[独習用文法教材]

数江譲治『フランス語のABC』(白水社)

[文法練習問題]

齊藤昌三『フランス語トレーニング・コース』(白水社)

西村牧夫『解説がくわしいフランス文法問題集』(白水社)

[作文]

山田博志(他)『1からはじめるフランス語作文』(白水社)

藤田裕二(他)『言いたいことが言える 書きたいことが書ける フランス語の作文』(三修社)

[辞書]

『ディコ仏和辞典』(白水社)

『クラウン仏和辞典』(三省堂)

『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)

『プログレッシブ仏和辞典』(小学館)

『ロワイヤル仏和中辞典』(旺文社)

質問・相談:

- ・授業内容に関する質問→各授業の担当者
- ・学事上の問題や生活面の相談→各クラスの担任

フランス語Ⅰ中級／フランス語Ⅱ中級

フランス語のカリキュラムには中級コースが準備されています。対象となるのは中学や高校で1~2年程度フランス語を学習した人です。このコースは「中級」の授業(週1コマ)と初習者向けの(B)と(C)の授業(それぞれ週1コマ)で構成されています。

フランス語Ⅰ中級 1単位(春学期)

フランス語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

セット履修

設楽 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中学や高校などで1~2年程度フランス語の学習経験がある人たちが対象として、初習者向けのクラスよりも早いペースで初級文法の説明を進めていきます。使用する文法教科書は初習者向けのクラスと同じです。それ以外の教材を用いて練習問題や講読もおこなうこともあります。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

初習者向け「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の成績評価方法に準じます。

テキスト(教科書):

初習者向け「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」で使用する教科書(A)(B)と同じです。

担当教員から履修者へのコメント:

この授業以外に、初習者向け「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の(B)(C)を履修してください。4月のガイダンス時に、既習者全員を対象としたレベルチェックを実施して、各自の所属クラスを決定します。

フランス語 I 上級 / フランス語 II 上級

フランス語のカリキュラムには上級コースも設けられています。十分なフランス語学習歴のある人を対象とします。このコースは以下の3つの授業で構成されています。

フランス語 I 上級 1 単位 (春学期)

フランス語 II 上級 1 単位 (秋学期)

セット履修

井上 櫻子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中学・高校で3年以上フランス語を学習した人たちのための授業です。まず、初回授業時にレベルチェックを行いません。実際の授業では、さまざまなジャンルのフランス語の文章を読み、多面的な読解力を養うことを目指します。具体的には、文学作品からの抜粋、思想・哲学系のテキスト、新聞・雑誌記事の抜粋、漫画の文章などを取り上げる予定です。必要に応じて、文法の復習を目的とした練習問題も織り交ぜていくほか、フランス語の書き取り・聞き取り練習も行いません。一年間でフランス語運用能力をブラッシュアップし、仏検準1、1級取得をめざせるようにがんばりましょう。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (出席状況、授業態度、宿題への取り組み方)、小テスト、学期末試験 (授業内) を総合して評価します。

テキスト(教科書):

プリントを配布します。

参考書:

ロワイヤル仏和中辞典 (旺文社)、小学館ロベール大辞典

担当教員から履修者へのコメント:

授業には休まず出席し、課せられた課題には必ず取り組むようにしてください。特に仏文和訳が中心となりますので、毎回しっかり予習することが必要となります。質問、提案など、履修者の積極的な発言を期待します。

質問・相談:

授業後に教室で受け付けます。

フランス語 I 上級 1 単位 (春学期)

フランス語 II 上級 1 単位 (秋学期)

フランス語上級

セット履修

シュドル, フローレンス容子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

自由なテーマで、または指定したテーマで、フランス語で会話することを中心に授業を進めます。フランスの新聞、雑誌記事、写真、映画などから、興味深い題材を選んで教材に用います。生きたフランス語での読み書き、コミュニケーション能力、表現力の向上をはかることが目的です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業内試験の結果によって成績評価を行います。

テキスト(教科書):

特に使用しません。必要に応じて参考資料をコピーし、配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

フランス語会話能力およびコミュニケーション能力の向上をはかるためには、失敗を恐れず積極的にフランス語で話すことにトライしてほしいと思います。日常生活のなかでも、フランスの雑誌や映画などに意識して興味を持つように心がけてください。

フランス語 I 上級 1 単位 (春学期)

フランス語 II 上級 1 単位 (秋学期)

上級仏作文演習

セット履修

西部 由里子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中学・高校などで3年以上フランス語を学習してきた既習者のための授業で、「フランス語の表現力を総合的に高める」ことを目標としています。

毎回の授業は、単語テスト、ニュースの聞き取り、語彙力を強化するための問題演習から始まります。その後、漫画やレシピなど日本語で書かれた様々な文章のフランス語訳を考えるグループワークや数行程度の和文仏訳演習 (個人課題) を行い、伝えたい内容を的確に表現するための工夫について考えます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況、単語テスト、グループワークへの取り組み、提出課題、授業中に行なう試験 (年間4回) などから総合的に評価します。

テキスト(教科書):

プリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

毎回予習が必要です。また授業には必ず辞書を持参してください。

質問・相談:

講義の後に随時受け付けます。

中国語

日本と二千年にも及ぶ交流を持つ中国は、いまや単なる隣国であるにとどまらず、世界への大きな影響力を保持する大国としての様相を現しています。中国は、日本人が慣れ親しんだ欧米的なスタンダードとは異なる、新たなスタンダードの構築を目指していると言えるかも知れません。各種メディアで報道される中国の急成長は、ときに感情的な脅威論に傾くこともありますが、まだまだ日中両国はお互いのことを十分に理解していないというのが現状です。中国というと反日的なイメージが強調されがちですが、経済ではすでに日中は重要なパートナーとなりつつあります。英語と並んで中国語の研修を必須とする大企業も現れ、今後ますますそうした傾向は強まるでしょう。日中両国の若者が、勇気をもって「相手を知っているつもり」をやめてみると、驚くほど多彩な事柄が見えてくるはずです。中国語の習得は、現代中国の文化的・政治的なコードの存在を実感し、様々な差違を楽しむための大きな一助となり、研究はもとより就職そして実業の世界でも大きな武器となり得ます。その先には、中国のみならず様々な「世界」と向き合う自分なりの姿勢を手に入れる展望も開けてくることでしょう。

中国語は漢字によって表記されます。それは日本人が中国語を学ぶ際の大きな利点です。しかし実は、中国（大陸）では「簡体字」と呼ばれる簡略化された漢字が用いられています。また台湾や香港では「繁体字」と呼ばれる画数の多い漢字が用いられており、いずれもわたしたちが日本語で使う漢字とは異なっています。そしてなにより、中国語の漢字の発音は日本語とは全く異なります。知っているようで、知らないことも多い、という中国語に対する感覚は、まさしく日中両国の間柄とも似通っているようです。

古来、日本は中国の文化から多くを学びました。複雑な歴史的背景のもと、現在は双方向的な関係を結ぶべき時期にきています。飛行機に乗ればわずか3時間程度、容易に往来できるのは隣国の利点です。日中間で多くの企業や留学生が往来し、そして多くの中国の若者は、日本のドラマやアニメなどのポップカルチャーを愛好しています。共有してきた文化を知る喜びと、近くて遠い異質の感覚に触れる楽しみ、その両方の可能性を中国語の学習は皆さんに与えてくれることでしょう。

中国は多民族国家ですが、中国籍を持つ人は13億5千万人にも及びます。これは世界の総人口のおよそ5分の1にあたります。「你好！ Nihǎo！」（こんにちは！）からはじまる一言ずつが、皆さんにとって世界への窓口を大きく開くスキルになることと思います。

なお、既習者は以下の説明を参照してください。初級と中級、或いは中級と上級のどちらで学べばよいか分からない人は、語学別ガイダンス時に教員と相談のうえ、クラスを決めることができます。

【中級クラス】

中国語学習歴1年間程度の学習者が対象です。具体的には高等学校などで中国語を学習した経験のある人や、中国語検定試験（中検）で4級を取得した人などです。

【上級】

一般入試で中国語を受験した人、およびこれに準ずる中国語能力のある人が対象です。授業内容は主に作文、講読、会話などです。なお作文は、非ネイティブの上級者は「中国語表現技法1」を、ネイティブまたはそれに近い能力を持つ上級者は「中国語表現技法4」を履修するようにしてください。

中国語Ⅰ／中国語Ⅱ 初級

中国語Ⅰ 1単位(春学期)

中国語Ⅱ 1単位(秋学期)

松倉 梨恵
浅野 雅樹
植松 公彦
鶴浦 恵
柴 森
福田 文彬
松川 育代
容 文育
吉永 壮介
李 晶
劉 渴水

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中国語の初学者を対象とする授業です。発音の習得、聴き取り、初級文法と語彙の習得をめざします。授業は2種類の統一教材を用いて行い、日本人教員2名のリレー形式と、ネイティブ教員1名による週3コマで進行します。日本人教員の授業時では、主に文法と基本的な会話を学習し、ネイティブ教員の授業では、聴き取りや発音・会話を重点的に練習します。なお、ネイティブ教員は中国語のみを使って授業をします。

学習の到達目標は以下の通りです。

①ピンイン表記(ローマ字による中国語の発音表記)を習得し、それに基づいて正確な発音が出来る。

②中国語を聴いて正確にピンインと簡体字で書き取ることが出来る。

③初級文法を習得し、簡単な会話がスムーズにできる。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

統一試験、各クラスでの試験、発音試験、出席・小テストによる平常点をベースにして、全担当教員による成績会議で決定します。全クラスで行う試験は以下の通りです。

<春学期>

【発音試験】

ネイティブ教員クラス (6月・授業時間内)

【学期末試験】

ネイティブ教員クラス (授業時間内)

日本人教員クラス (授業時間内・聞き取り試験)

全クラス統一試験 (試験期間中・筆記試験)

<秋学期>

【中間試験】

ネイティブ教員クラス (三田祭前・授業時間内)

全クラス統一試験 (三田祭前)

【学期末試験】

ネイティブ教員クラス (授業時間内)

日本人教員クラス (授業時間内・聞き取り試験)

全クラス統一試験 (試験期間中・筆記試験)

テキスト(教科書):

各自、下記の2冊を生協の教科書売り場で購入して、初回の授業に臨んでください。

日本人教員クラス:

『中国語の並木道 [改訂版]』(白帝社)

ネイティブ教員クラス:

『はじめまして!中国語』喜多山幸子・鄭幸枝(白水社)

参考書:

<辞書> ガイダンス時に紹介します。

<参考書> 『中国語の入門』山下輝彦著(白水社)

『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂ほか著(同学社)

担当教員から履修者へのコメント:

出席・平常点を重視します。欠席しないように心がけてください。最初の数週間で集中的に発音練習を行い、その後文法・会話練習に進みます。中国語の発音に慣れるために、繰り返し教科書付属のM

P3・CDで練習してください。春学期においては特に復習に力を入れること。

質問・相談:

メールなど、各担当者からの指示に従ってください。

中国語Ⅰ／中国語Ⅱ 中級

中国語Ⅰ中級 1単位(春学期)

中国語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

杉野 元子

張 文菁

松川 育代

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は初級中国語を1年程度勉強した学生に向けたものです。日本人教員2名は、中国語初級文法の確認と発展、語彙の拡大、読解力の向上を目指す授業を展開します。中国人教員は極力中国語を使って授業を行い、実践的に中国語のリスニングとスピーキングの力を鍛えていきます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席状況、授業態度、課題・レポート、授業内試験の結果をもとにして判断します。

テキスト(教科書):

開講時に指定。

参考書:

相原茂ほか著『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』(同学社)

担当教員から履修者へのコメント:

遅刻・欠席はしないように心がけてください。

毎回予習をして授業にのぞむようにしてください。

質問・相談:

授業終了後に受け付けます。

朝鮮語

朝鮮語Ⅰ 1単位(春学期)

朝鮮語Ⅱ 1単位(秋学期)

韓国語の入門から初級まで

セット履修

李 瓊

李 泰文

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

韓国語の入門(文字、発音、あいさつのことば)、基礎(簡単な日常会話)、初級(旅行、買い物、掲示板の理解などに役立つもの)の段階を踏んで学んでいきます。一週間に三回の授業は、講師は代わっても、同一教材を用いて進めます。各課ごとに小テストをし、達成度をはかります。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席率、課題、小テストにより評価します。

テキスト(教科書):

金孝珍(北原スマ子監修)『即!実践 楽しもう韓国語』白帝社、2018年。

ISBN : 978-4-86398-277-2

参考書:

辞書は『朝鮮語辞典』(小学館)、『コスモス朝和辞典』(小学館)など。初年度の前期は辞書を引く練習はしませんが、手元において、頻繁に語法、語義を確認することが大事です。後期以降は必要です。電子辞書を机の上に置いて随時参照するのも可です。

担当教員から履修者へのコメント:

韓国語は日本人にとって、他の外国語よりは取り組みやすい言語だといわれています。しかし、目標をどこに設定するかによって難易度は随分変わってきます。ハングルが何とか読める程度で満足することなく、韓国の社会や文化の中にもひとりで入っていけるという目標を持って学習に取り組んでほしいです。

質問・相談:

随時受け付ける。

朝鮮語既習Ⅰ 1単位(春学期)

朝鮮語既習Ⅱ 1単位(秋学期)

韓国語上級

セット履修

李 瓊

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

*【セット科目】は、春・秋学期通して履修してください。

韓国語をすでに学んだことのある人を対象にしています。

日常的な場面をテーマに学習することで、状況に応じた表現方法を習得するとともに、韓国人の会話スタイル(より複雑な表現)についても理解を深めていくことを目指します。その他に、映画・新聞・文学作品などを素材に、韓国語だけでなく韓国の文化や社会事情に対する理解も高めていきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席率、授業への参加の度合い、課題などで評価します。

テキスト(教科書):

第1回目の授業で配布します。

質問・相談:

随時受け付ける。

スペイン語

スペイン語Ⅰ 1単位(春学期)

スペイン語Ⅱ 1単位(秋学期)

スペイン語の基礎と発展

坂田 幸子

アイト モレーノ, イサーク

安藤 万奈

コルメナ ロメロ, ロベルト

菅原 昭江

マルティネス・アストウディリョ, ヘスス・ミゲル

セット履修

諸星 妙

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期

スペイン語文法の基本を学びつつ、挨拶や自己紹介など、初歩的な日常会話をスムーズに行えるような練習をします。四技能をバランスよく身につけ、簡単な読み書きもできるようにするのが目標です。

秋学期

春学期に引き続いてスペイン語文法を学習し、ひとつおりの文法項目を学び終えます。また、平易なスペイン語テキストの内容を理解できるだけの読解力や、身の回りの出来事や事物について述べることのできるだけの作文能力を身につけることも目標です。

スペイン語圏の国々の文化についても、折に触れて紹介します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

試験(各学期に数回行う小テスト、期末試験)ならびに平常点をベースにして、担当者全員による合議の上で決定します。詳しくは4月のガイダンスと初回授業時に説明します。

参考書:

辞書については、最初は電子辞書ではなく、紙媒体のものが望ましいです。以下のものをお勧めします。

『現代スペイン語辞典』(白水社)

『西和中辞典』(小学館)

『クラウン西和辞典』(三省堂)

『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)

(4月のガイダンスでそれぞれの辞書について簡単に紹介します)。

担当教員から履修者へのコメント:

遅刻・欠席をせず、積極的に授業に参加してください。語学の習得のためには、いわゆる「一夜漬け」ではなく、コンスタントに努力を積み重ねることが大切です。たとえば毎日、予習と復習を30分行なうなど、習慣づけましょう。一年生で基礎を固めたあと、二年生の授業では、スペイン語での簡単なプレゼンテーションや、スペイン語圏の社会・歴史・文化などに関するテキストの読解に挑戦していただきます。

質問・相談:

授業の前後に受け付けます。

ロシア語

ロシア語Ⅰ 1単位(春学期)

ロシア語Ⅱ 1単位(秋学期)

ロシア語の基礎

中澤 朋子

セット履修

三神 エレーナ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

アルファベット、発音から始めて、ロシア語の基本的な文法項目および表現を総合的に学習します。一年間でロシア語の読解力を養成する授業です。ロシア語の構文をしっかり把握して正しく理解・応用できるようになることを目標とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席、宿題、中間テスト、期末試験等で総合的に評価します。

テキスト(教科書):

プリントを配布します。

参考書:

『博友社ロシア語辞典』

担当教員から履修者へのコメント:

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。

質問・相談:

授業中、授業時間前後に学生の質問に対応します。

イタリア語

イタリア語Ⅰ 1単位(春学期)

イタリア語Ⅱ 1単位(秋学期)

イタリア語基礎文法《必修》

藤谷 道夫
古田 耕史
森田 華奈子

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

《春学期:イタリア語Ⅰ》月・火曜日(藤谷担当) 水曜日(森田・古田担当)

音楽や視覚教材などを併用しながら、初歩的なイタリア語の文法を解説します。レベル的には、イタリア語検定5級程度が習得できるよう指導していきます。また、イタリア語の学習を通して様々なイタリアの文化や考え方を学びます。学生の興味や要望に合わせて、映画、音楽、絵画、食文化等にも積極的に触れて、イタリア語学習をできるだけ楽しいものにしていくつもりです。

《秋学期:イタリア語Ⅱ》

イタリア語Ⅰを受けて、イタリア語文法の初級の残りを解説します。授業の進め方も、イタリア語Ⅰと同じです。折に触れて、イタリアの食生活や日常生活、文化、社会習慣など語学に密接した知識を解説します。レベル的には、イタリア語検定4級程度が習得できるよう指導していきます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

【月・火曜日(藤谷担当)】

授業内の小テストの平均点で全体の評価とする。

【水曜日(森田・古田担当)】

① 出席が試験を受ける資格となる。

② 各学期に中間試験と学期末試験を行ない、①の評価に加えて、全体の評価とする。

テキスト(教科書):

『イタリア語最初歩』(ナンニーニ・アルダ、藤谷道夫著、三修社)を各自購入して下さい。

『イタリア語練習問題集(慶應義塾大学生用)』(無料配布)

参考書:

須賀敦子『ミラノ霧の風景』(白水社)

『伊和中辞典』(小学館)または『ブリーモ伊和辞典』(白水社)

担当教員から履修者へのコメント:

①初級文法は毎回新しい内容を解説するため、出席していないと新しい単元の文法が解らなくなってしまう。しかも、授業内で小テストを毎回行うため、全出席が原則です。

②勉強を進める上で興味や関心が何よりも重要です。このため、学生からの積極的な質問を期待しています。

③初級文法では、最初、覚えることばかりで大変ですが、できるだけ楽しく・興味深い授業となるよう教員の方も配慮・努力するつもりです。

④火曜日は必修語学の曜日として絶対にアルバイトを入れないようにして下さい。授業が理解できていない学生や病欠などで休んだ学生に対して5限(もしくは5限後)に補習を行なうためです。

質問・相談:

授業中や授業後に質問をして下さい。それ以外で質問や相談がある場合、火曜日の昼の休憩時間または火曜日5限か5限の終わりに研究室531(来往舎)に気軽に来て下さい。また、授業が十分に理解できていない学生は呼び出して、補習をします(藤谷)。

イタリア語Ⅰ 1単位(春学期)

イタリア語Ⅱ 1単位(秋学期)

Ciao!からイタリアへ

セット履修

マジジャ, フェデリカ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初めてイタリア語を学ぶ学生のための授業です。この授業は、日常生活や旅行など様々なシチュエーションで必要となるコミュニケー

ション能力を涵養するため、イタリア語での日常会話や語彙を習得することに焦点を当てて進めていきます。授業を通して、イタリア文化の文脈に沿った適切な会話表現の習得、また、言語の裏に潜むイタリアの文化、思考様式についても文化比較を交えながら、知識を深めていくことを目指します。

授業は、教科書に沿って授業を進めます。春学期は、2課(自己紹介、余暇の過ごし方など・動詞の現在)まで、秋学期は4課(日々の生活、バカンスなど・動詞の近過去)まで進める予定です。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席、授業への積極的な参加態度、小テスト、期末試験、課題や提出物などを総合的に鑑みて評価します。

テキスト(教科書):

『Nuovo Progetto Italiano 1』Marin T., Magnelli S.著 Edilingua出版 2008年 ISBN: 978-960-6632-24-2

担当教員から履修者へのコメント:

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。恥ずかしがらずに、授業に積極的に参加しましょう。間違いを気にせず、話して下さい。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言いますが、分からなくて聞いても恥でもなんでもありません。いくら間違えても構わないので、どんどん話しましょう。

質問・相談:

- ・授業中はもとより、休憩時間に気軽に何でも質問して下さい。
- ・講義の前後に随時受け付けます。

イタリア語Ⅰ 1単位(春学期)

イタリア語Ⅱ 1単位(秋学期)

Ciao!からイタリアへ

セット履修

レバリアーティ, ガブリエレ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初めてイタリア語を学ぶ学生のための授業です。この授業は日常生活や旅行など様々なシチュエーションで必要となるコミュニケーション能力を涵養するため、イタリア語での日常会話や語彙を習得することに焦点を当てて進めていきます。授業を通してイタリア文化の文脈に沿った適切な会話表現の習得、また言語の裏に潜むイタリアの文化、思考様式についても文化比較を交えながら、知識を深めていくことを目指します。

授業は、教科書に沿って授業を進めます。春学期は、2課(自己紹介、余暇の過ごし方など・動詞の現在)まで、秋学期は4課(日々の生活、バカンスなど・動詞の近過去)まで進める予定です。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席、授業への積極的な参加態度、小テスト、期末試験、課題や提出物などを総合的に鑑みて評価します。

テキスト(教科書):

『Nuovo Progetto Italiano 1』Marin T., Magnelli S.著, Edilingua出版、2008年 ISBN: 978-960-6632-24-2

担当教員から履修者へのコメント:

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。恥ずかしがらずに、授業に積極的に参加しましょう。間違いを気にせず、話して下さい。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言いますが、解らなくて聞いても恥でもなんでもありません。いくら間違えても構わないので、どんどん話しましょう。

質問・相談:

授業中はもとより、休憩時間に気軽に何でも質問して下さい。講義の前後に随時受け付けます。

イタリア語入門Ⅰ 1単位(春学期)

イタリア語へようこそ!

マジジャ, フェデリカ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

実践的なコミュニケーションアプローチを通じて、各会話と文法は同じ内容の相互補完形式です。

「日常生活」「旅行」「文化」などの話題に必要なボキャブラリーや表現を増やしながら、コミュニケーション能力をつけることを目指します。具体的には、様々なシチュエーションで使える会話表現を習

得し、自分のことを自分の言葉で話せるようになることを目標とします。

ビデオ(スキットと文化紹介の映像)、スライドショーなどのマルチメディアを使用して楽しく日常イタリア語を学び、イタリアの文化について知識を深めます。

教科書に沿って授業を進めます。春学期は、3課まで、秋学期は6課まで進む予定です。

この授業はイタリア語を初めて学ぶ学生を対象としていますが、イタリアで生活した経験がある学生、イタリアへの留学を考えてすでにいくらか学習した学生も歓迎します。それぞれの希望に合わせて個別に対応します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業参加、小テスト、期末試験。

テキスト(教科書):

Maggia, Miscio, Quagliari, Spinuso, Zamborlin著

OPERA PRIMA - Volume 1, Casa Editrice Asahi 2012年

ISBN: 978-4-255-55308-5

担当教員から履修者へのコメント:

学生からの声

会話中心の授業なので文法の授業で習ったことを実際に試すことができ自分のイタリア語をブラッシュアップできてよかった。(FUMIYA,1年)

基本少数人で、自分から積極的に発言しやすい雰囲気があり、受講者みんなが授業に参加できていたと思います。そして基礎的なことから、ちょっとした応用、イタリアのマナーや文化など、実際にイタリア語を使う際に役立つような知識がかなり得られたと思います。楽しかったです。(TSUKANE,1年)

イタリア語について全く予備知識なしで履修しましたが、先生が優しく、かつ丁寧に教えてくださるので、とても楽しく勉強できます。一度社会に出ると、こうした質の高い語学の授業を受けることはそう簡単にはできないと思います。少しでも興味があればぜひ履修することをおすすめします。(KOSEI,4年)

イタリアを旅行したいと思い、この授業を取りました。文法を学びながら、日常会話の練習も重点的にできるので、特に実際にイタリアに行きたい人におすすめしたいです。また、イタリアの文化についても学ぶことができ、とても楽しい授業です。(NOZOMI,2年)

少人数の授業であるため、1人1人丁寧に指導していただけます。先生はとても明るく優しい方で、いつも楽しくイタリア語を学べます。教科書に載っているイタリアで有名なカフェに同じクラスの友達と行ったこともあります！イタリアに少しでも興味のある方はぜひ授業をとってみてください！(SAE,2年)

この授業では、基本的にイタリア語の会話などを中心に学ぶことができます。文学部設置の授業ですが、他学部の人でも履修することができます(僕は経済学部です)。また、僕はイタリア語を今まで全く勉強したことがなかったのですが、先生がとても親切に教えてくれたおかげで、イタリア語を楽しく一から学ぶことができました。また、少人数授業ということもあり、僕が個人的に受験したかったCILSというイタリア主催のイタリア語の試験対策を授業でもらいました。そして、4月から勉強を初めて、12月にCILS A1(CEFR A1)を受験しました！イタリアに少しでも興味があったら、履修するといいと思います。(SHUN,2年)

先生はいつも優しく1人1人のレベルに合わせて丁寧に指導していただき、クラスメイトも明るく楽しかったので私はこの授業が大好きでした！楽しみながらイタリア語の力をしっかり伸ばせましたし、CILSという国際的なイタリア語の資格の勉強もできて充実した一年でした！(KANA,2年)

私はこの春からイタリア語を学び始めました。それまでイタリア語に関する知識は全くなく、授業以外でイタリア語を勉強することもあまりありませんでしたが、話すことを中心としたこの授業のおかげで基本的な会話を交わすことができるようになりました。また、教科書には載ってない文法知識についてもプリントや授業で説明し

てもらえるので、体系だった文法の学習も可能です。そして何より明るく生徒思いな先生のおかげで、授業の自由度が高く、生徒の要望に合った学習を行えるので、楽しくイタリア語を学習できます！是非履修してみてください！(YUTO,2年)

質問・相談:

- ・ 授業時間の折に担当教員になんでも質問してください。
- ・ 講義の前後に随時受け付けます。

イタリア語入門Ⅱ 1単位(秋学期)

イタリア語へようこそ！

マツジャ、フェデリカ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

「イタリア語入門I」の続きです。

実践的なコミュニケーションアプローチを通じて、各会話と文法は同じ内容の相互補完形式です。

「日常生活」「旅行」「文化」などの話題に必要なボキャブラリーや表現を増やししながら、コミュニケーション能力をつけることを目指します。具体的には、様々なシチュエーションで使える会話表現を習得し、自分のことを自分の言葉で話せるようになることを目標とします。

ビデオ(スキットと文化紹介の映像)、スライドショーなどのマルチメディアを使用して楽しく日常イタリア語を学び、イタリアの文化について知識を深めます。

教科書に沿って授業を進めます。春学期は、3課まで、秋学期は6課まで進む予定です。

この授業はイタリア語を初めて学ぶ学生を対象としていますが、イタリアで生活した経験がある学生、イタリアへの留学を考えてすでにいくらか学習した学生も歓迎します。それぞれの希望に合わせて個別に対応します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業参加、小テスト、期末試験。

テキスト(教科書):

Maggia, Miscio, Quagliari, Spinuso, Zamborlin著

OPERA PRIMA - Volume 1, Casa Editrice Asahi 2012年

ISBN: 978-4-255-55308-5

担当教員から履修者へのコメント:

学生からの声

会話中心の授業なので文法の授業で習ったことを実際に試すことができ自分のイタリア語をブラッシュアップできてよかった。(FUMIYA,1年)

基本少数人で、自分から積極的に発言しやすい雰囲気があり、受講者みんなが授業に参加できていたと思います。そして基礎的なことから、ちょっとした応用、イタリアのマナーや文化など、実際にイタリア語を使う際に役立つような知識がかなり得られたと思います。楽しかったです。(TSUKANE,1年)

イタリア語について全く予備知識なしで履修しましたが、先生が優しく、かつ丁寧に教えてくださるので、とても楽しく勉強できます。一度社会に出ると、こうした質の高い語学の授業を受けることはそう簡単にはできないと思います。少しでも興味があればぜひ履修することをおすすめします。(KOSEI,4年)

イタリアを旅行したいと思い、この授業を取りました。文法を学びながら、日常会話の練習も重点的にできるので、特に実際にイタリアに行きたい人におすすめしたいです。また、イタリアの文化についても学ぶことができ、とても楽しい授業です。(NOZOMI,2年)

少人数の授業であるため、1人1人丁寧に指導していただけます。先生はとても明るく優しい方で、いつも楽しくイタリア語を学べます。教科書に載っているイタリアで有名なカフェに同じクラスの友達と行ったこともあります！イタリアに少しでも興味のある方はぜひ授業をとってみてください！(SAE,2年)

この授業では、基本的にイタリア語の会話などを中心に学ぶことができます。文学部設置の授業ですが、他学部の人でも履修することができます(僕は経済学部です)。また、僕はイタリア語を今まで全く勉強したことがなかったのですが、先生がとても親切に教えてく

れたおかげで、イタリア語を楽しく一から学ぶことができました。また、少人数授業ということもあり、僕が個人的に受験したかったCILSというイタリア主催のイタリア語の試験対策を授業でもらいました。そして、4月から勉強を初めて、12月にCILS A1(CEFR A1)を受験しました！イタリアに少しでも興味があったら、履修するといいと思います。(SHUN, 2年)

先生はいつも優しく1人1人のレベルに合わせて丁寧に指導してくださり、クラスメイトも明るく楽しかったので私はこの授業が大好きでした！楽しみながらイタリア語の力をしっかり伸ばせますし、CILSという国際的なイタリア語の資格の勉強もできて充実した一年でした！(KANA, 2年)

私はこの春からイタリア語を学び始めました。それまでイタリア語に関する知識は全くなく、授業以外でイタリア語を勉強することもあまりありませんでしたが、話すことを中心としたこの授業のおかげで基本的な会話を交わすことができるようになりました。また、教科書には載ってない文法知識についてもプリントや授業で説明してもらえるので、体系だった文法の学習も可能です。そして何より明るく生徒思いな先生のおかげで、授業の自由度が高く、生徒の要望に合った学習を行えるので、楽しくイタリア語を学習できます！是非履修してみてください！(YUTO, 2年)

質問・相談:

- ・ 授業時間の折に担当教員になんでも質問してください。
- ・ 講義の前後に随時受け付けます。

ギリシア語

古典ギリシア語初級Ⅰ 1単位(春学期)

古典ギリシア語の初級文法

中谷 彩一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

古代ギリシアの文化は、現代にいたるまで西欧文化に大きな影響を与えています。古典ギリシア語は、古代ギリシアの文学・歴史・哲学などの文献を原典で読むために不可欠なだけでなく、その後のヨーロッパ文化を学ぶ上でも基本となる言語の一つです。この授業ではギリシア文字の読み方からやや難しい文法事項まで、古典ギリシア語の初級文法を練習問題を解きながら、少しずつ学んでいきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加度(出席・予習・発表)と小テストにより評価します。

テキスト(教科書):

『古典ギリシア語初歩』 水谷智洋著 岩波書店 1990年 ISBN: 978-4000008297

その他必要に応じてプリント配布

担当教員から履修者へのコメント:

毎回、練習問題を履修者に解いてもらいながら進めて行くので、予習が必須です。また、次々と新しい文法事項が出てくるので、復習も欠かさないようにしてください。

質問・相談:

授業中・授業後に随時受け付けます。

古典ギリシア語初級Ⅱ 1単位(秋学期)

古典ギリシア語の初級文法

中谷 彩一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

古代ギリシアの文化は、現代にいたるまで西欧文化に大きな影響を与えています。古典ギリシア語は、古代ギリシアの文学・歴史・哲学などの文献を原典で読むために不可欠なだけでなく、その後のヨーロッパ文化を学ぶ上でも基本となる言語の一つです。この授業ではギリシア文字の読み方からやや難しい文法事項まで、古典ギリシア語の初級文法を練習問題を解きながら、少しずつ学んでいきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加度(出席・予習・発表)と小テストにより評価します。

テキスト(教科書):

『古典ギリシア語初歩』 水谷智洋著 岩波書店 1990年 ISBN: 978-4000008297

その他必要に応じてプリント配布

担当教員から履修者へのコメント:

毎回、練習問題を履修者に解いてもらいながら進めて行くので、予習が必須です。また、次々と新しい文法事項が出てくるので、復習も欠かさないようにしてください。

質問・相談:

授業中・授業後に随時受け付けます。

ラテン語

ラテン語初級Ⅰ 1単位(春学期)

古典ラテン語の初級文法

中谷 彩一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ラテン語は、欧米の学芸に大きな影響を与えた古代ローマの文化を学ぶうえで不可欠なだけでなく、イタリア語やフランス語、スペイン語などロマンス諸語の祖であり、中世以降もローマ教会の共通語、さらには学術語としてヨーロッパで重要な地位を占めてきました。この授業では、古代ローマの書き言葉であった古典ラテン語の初級文法を、練習問題を解きながら少しずつ学んでいきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加度(出席・予習・発表)と小テストにより評価します。

テキスト(教科書):

『標準ラテン文法』 中山恒夫著 白水社 1987年 ISBN: 978-4560017616

担当教員から履修者へのコメント:

毎回、練習問題を履修者に解いてもらいながら進めて行くので、予習が必須です。また、次々と新しい文法事項が出てくるので、復習も欠かさないようにしてください。

質問・相談:

授業中・授業後に随時。

ラテン語初級Ⅱ 1単位(秋学期)

古典ラテン語の初級文法

中谷 彩一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

ラテン語は、欧米の学芸に大きな影響を与えた古代ローマの文化を学ぶうえで不可欠なだけでなく、イタリア語やフランス語、スペイン語などロマンス諸語の祖であり、中世以降もローマ教会の共通語、さらには学術語としてヨーロッパで重要な地位を占めてきました。この授業では、古代ローマの書き言葉であった古典ラテン語の初級文法を、練習問題を解きながら少しずつ学んでいきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加度(出席・予習・発表)と小テストにより評価します。

テキスト(教科書):

『標準ラテン文法』 中山恒夫著 白水社 1987年 ISBN: 978-4560017616

担当教員から履修者へのコメント:

毎回、練習問題を履修者に解いてもらいながら進めて行くので、予習が必須です。また、次々と新しい文法事項が出てくるので、復習も欠かさないようにしてください。

質問・相談:

授業中・授業後に随時。



Keio University Hiyoshi campus

文学部 人文社会学科 1 学年 組
学籍番号
氏名

慶應義塾大学（日吉） 2020 年度